

令和元年度 第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)施策及び実績報告

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む施策の方向 施策の方向 1 学校・園における男女平等教育の推進

施策① 男女平等教育の推進

事業番号	事業
1	各幼稚園・学校や保育所で、男女平等教育推進計画並びに保育計画を策定し、園や学校、保育活動での取組、教職員等の研修、保護者への働きかけ等を積極的に推進し、教育・保育環境を整備します。 ◆保育計画に基づく人権の視点からの男女平等教育の実践と共有 ◆人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表 ◆ユニバーサル・デザインに基づく学校施設の整備・改善

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
・環境(色・玩具等)や色々な遊びにおいて、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるよう保育活動や環境を整えた。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・生活の中で、「男は・・・」「女は・・・」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に、男女の区別なく「自分らしく」と考える場を持ち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにした。	1	3	1	1	1	日常の保育・教育の場面で取り組みを継続している。	2	こども未来室
各学校園で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	2	3	3	1	1	男女平等教育を推進するため、引き続き人権教育推進計画を策定するとともに、実績報告の内容を分析し、次年度の計画に反映させる。	2	教育委員会指導室
学校施設について利用者への配慮も含め、可能な限りユニバーサル・デザインを取り入れた。体育館改修などにおいて誰でも使用しやすいように、導線の確保や段差の解消を行う施工を行った。公共施設の観点から児童・生徒の施設利用だけに特化するものではなく、年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰でも使用しやすいような施工をこころがけている。	2	3	1	1	1	学校施設を利用する市民に利用しやすい環境整備を優先する必要がある、ユニバーサル・デザインに基づく視点をどの程度取り入れるかが課題である。	2	教育委員会教育総務室

事業番号	事業
2	「男女平等教育推進モデル校(園)」においては、当事者である子どもと教職員への振り返り調査を実施し、男女平等教育モデル校(園)での成果を1年ごとにまとめ、公表するとともに、次年度の取組に活かします。 ◆モデル校の実践の発信

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
推進モデル校園(信太小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、信太中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、市内小中学校及び義務教育学校、市立図書館に配付した。	1	2	1	1	1	同じ中学校区の4つの学校が合同で研修会を開き、3小学校では共通の教材を使って「LGBT」等の性的マイノリティへの理解を深めるための授業を行い、指導方法についての研究が進んだ。	2	教育委員会指導室

事業 番号	事業
3	教職員や保護者等が、デートDVや性犯罪(児童ポルノや児童虐待等)等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆教職員、保護者、子どもなど対象者に応じて選択し、大阪府から提供のポスター、パンフレット、データを提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進ん 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の周知を6月と12月に行った。また、庁内のDV防止研修会の情報提供も行った。	2	3	1	1	1	研修案内を配付するだけでなく、府の研修で学んだことを伝達するなど、積極的に情報を提供する。	2	教育委員会 指導室
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: デートDV防止講演会～お互いを尊重した関係づくりのために～ 開催日: 令和元年11月20日(水) 参加人数: 124人/定員: 200人	1	3	1	1	1	大学の講義内で講演会を実施することにより、より多くの学生を対象に意識の向上ができたと考える。引き続き桃山学院大学と連携し実施していきたい。	2	人権・男女参 画室

事業 番号	事業
4	教職員や保護者等が、性的マイノリティ等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆学校に向けて文部科学省等からの啓発物等を提供 ◆男女共同参画センターの図書コーナー等での啓発

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進ん 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
・職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止指針を令和2年1月に改定した。また、教職員から児童生徒に対するセクシュアルハラスメント防止指針を令和2年1月に策定した。その中で性的マイノリティに関する項目も設けた。この点に関して校長ヒアリング・研修会で繰り返し周知を行った。 ・学校園の担当者及び管理職対象に「子どもが安心して過ごせる教育現場のために～セクシュアル・マイノリティとされる子どもへの配慮について～」という題で研修会を実施予定だったがコロナウイルス対策のため研修会が中止となった。	2	2	1	1	1	今年度もいくつかの学校が講師を招いて研修会を開催するなど、教職員の意識が高まっている。また性的マイノリティ当事者と子どもが出会う場面を設定した学校もあった。今後も性的マイノリティに対するハラスメントに限らず、あらゆるハラスメントをなくしていく取組みをすすめていく。	2	教育委員会 指導室
性的マイノリティ関連情報を収集し、モアイずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、性的マイノリティの漫画家と周辺のLGBTの人たちとの交流を描いたDVD「性別がない！ インターセックスの漫画家のクワイな日々」等の貸出を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報収集等に努め、LGBTの理解促進に一層の啓発を図る。	2	人権・男女参 画室

事業番号	事業
5	自らの身体と相手方の身体について正しい理解を深め、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう、発達段階に応じた性教育に取り組みます。 ◆保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施 ◆小中生活指導協議会でのアンケートの実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
養護教諭・担任・学年集団等での指導はもとより、医療機関や外部専門機関等の講師による講義を子どもたちに実施し、事前アンケートや日頃の様子をもとに子どもたちの実態に応じた指導を実施することができた。	2	3	1	1	1	今年度は、いくつかの中学校区において、校区内全小中学校で指導案を作成するとともに、同じ指導案で全学年実施できた。生活指導事案の中には性に関する事案もあることから、今後より一層充実した指導体制の構築が必要である。	2	教育委員会指導室
和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「安全意識」のアンケートを平成24年度から平成29年度まで実施した。その結果を踏まえて、携帯電話・スマートフォンを利用する時に気をつけなければならないことをまとめ、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で周知した。	2	3	3	1	1	市内全学校園で小学4年生から中学3年生の児童生徒と保護者を対象に6年間アンケートを実施してきた。アンケート結果が固定化されてきたので、昨年度からアンケートは実施していない。来年度以降も、6年間のアンケート結果から得た実態をもとに、携帯電話・スマートフォンの利用の方法について啓発を続けていく。	2	教育委員会指導室

事業番号	事業
6	市民活動等と連携し、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもなることを防ぐための情報や学習機会の提供を定期的に行います。 ◆教職員対象に人が本来持っている生きる力を湧き出させる研修の実施 ◆子ども対象の「犯罪防止教室」の実施 ◆「被害者救済システム」の周知 ◆保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施 ◆保育所・幼稚園における「こどもたちに伝える5つの約束」の徹底

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	2	3	1	1	1	携帯電話・スマートフォン等の使用によりトラブルに巻き込まれないように新たな情報を提供していく。	2	教育委員会指導室
全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。 小学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「非行防止教室」を小5・小6対象に全小学校で実施した。 中学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」か「非行防止教室」を全中学校で実施した。 「薬物乱用防止教室」についても、警察や薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	2	3	3	2	2	今後も全学校園で取り組んでいく。	2	教育委員会指導室

校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。 学校では「被害者救済システム」に基づく「子ども家庭相談室」の広報用カードを小学1年生と中学1年生全員に配付した。	2	3	1	1	1	今後も周知を徹底していく。	2	教育委員会指導室
・年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるか分からない不審者侵入を想定して訓練を実施し、見えてきた課題などを職員間で話し合う時間を作った。 ・送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	2	3	1	1	1	いろいろな場面や職員体制、時間帯など想定して実施した。幼稚園の訓練を目標回数、実施できた。	2	こども未来室
・「5つの約束」のDVDを各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすいように伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	2	3	1	1	1	5つの約束の看板ポスターを掲示している。保護者からの相談時にも伝えた。	2	こども未来室

施策② 一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進

事業番号	事業
7	キャリア教育をする上で重要な取組という観点に立って職場体験学習を実施するために、教職員に対してキャリア教育に関する情報や学習機会を提供します。 ◆キャリア教育担当者の研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
・令和2年2月28日に、和泉市から約30名の教員が参加し、「キャリア教育について」というテーマで泉北3市1町キャリア教育担当者研修会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、各中学校区ごとに開催しているキャリア教育担当者会において情報共有等を行った。 ・進路担当者会において、中学校における職場体験学習の実施のために各校へ情報提供を行った。	2	3	1	1	1	実施できなかった今年度の研修予定内容も踏まえて、来年度も教職員対象のキャリア教育に係る研修内容の充実を図っていく。	2	教育委員会指導室

事業番号	事業
8	子どもの発達段階に応じて、性別に捉わられることなく自らの生き方を考え、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身につけることができるよう、キャリア教育の指導計画を作成し、それに基づいた進路指導を行います。 ◆中学校区における「キャリア教育全体指導計画」の策定 ◆中学校への職場体験学習実施のための情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
中学校区単位・義務教育学校区で策定した「キャリア教育全体指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	2	3	3	1	1			今後も継続的に、男女共同参画の視点も取り入れながら、「キャリア教育全体指導計画」の見直し・改善を図るとともに、計画に基づいた取組みをすすめる。	2	教育委員会指導室
・進路担当者会議(月1回)において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について情報提供及び指導助言を行った。 ・各中学校の職場体験先の事業所について、市役所内や大型商業施設(コストコ、ビバホーム)等について、各中学校の体験希望を集約し、調整を行った。	2	3	3	1	1			子ども達が、性別に捉わられることなく、自らの生き方を考えることができるように、引き続き、職場体験に向けた取組みや進路指導を工夫していく。	2	教育委員会指導室

事業番号	事業
9	特に、女子や障がいのある人について、厳しい就業状況を踏まえ一人ひとりに対応した支援をします。 ◆支援学校や障がい者施設との連携の充実 ◆日中活動系事業所の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	2	3	1	1	1			支援学校への進学にあたり、学校見学・学校体験を十分するように指示し、中学校(義務教育学校)と支援学校との間で、生徒の情報共有も行った。	2	教育委員会指導室
市、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターにおいて、日中活動事業所に通所を希望する障がい者に情報提供等を行った。また、就労を希望する場合には、公共職業安定所(ハローワーク)を紹介したり、その他就労に関する様々な相談については、障害者就業・生活支援センターを紹介するなどの支援を行った。 障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計468人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,972件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が634件(延べ件数)等である。	2	3	3	1	1			引き続き、障がい者が日中活動系事業所に通所を希望する場合は、適切に支援を行う。	2	障がい福祉課

事業 番号	事業
10	市役所においてインターンシップを受け入れます。 ◆インターンシップ事業 ◆桃山学院大学生インターンシップの受け入れ

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1.進んだ 2.やや進ん 3.現状維持 4.進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会及び近畿職業能力開発大学校との連携により、学生3名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 いずみアピール課・生涯学習課…令和元年8月19日～23日 読書振興課…令和元年8月23日～31日 建築住宅課…令和元年9月17日～9月27日 【内訳】女性2名、男性1名	1	3	1 1 1	事業予定のとおり堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会及び近畿職業能力開発大学校との連携により3名のインターンシップの受け入れを行い、施策の推進に寄与した。	2	人事課
学生の要望がなかったため実施しなかった。	3	4	3 2 2	今年度も引き続き、受け入れ体制を整え、業務に携わってもらいながら、男女共同参画について学ぶ機会の提供を行う。	2	人権・男女参画室
和泉シティプラザ指定管理者の公共施設管理公社が桃山学院大学の学生の受け入れを行った。令和元年度は男性1名が出張所でインターンシップを実施した。	2	3	2 2 2	今後も引き続き、公共施設管理公社と連携し、事業を行う。	2	生涯学習課

施策③ 教職員・保育士等の男女平等意識の向上

事業 番号	事業
11	教職員や保育士等が固定的な性別役割分担意識に捉われず、男女平等の意識を持って子どもたちを指導できるよう、研修の充実を図ります。 ◆校内推進体制確立のための校長会での意識づけ ◆乳幼児人権教育研究会による研修の実施

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1.進んだ 2.やや進ん 3.現状維持 4.進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
全学校園において、男女平等教育についての研修(職員会議等の中での伝達、資料の周知を含む)を行った。	1	3	3 1 1	各学校園で行っている研修内容を把握し指導・助言をしていく。	2	教育委員会指導室
乳幼児人権教育研究会夜研修を年間実施 ・研修「じぶんをいきるためのるーる」山本 晨氏 ・「和泉市内の虐待の現状と実態、アセスメントシートについて」こども未来室 社会福祉士 仁木 仁美氏 ・「早期発見・早期介入により、子どものライフステージに合わせて支援できる体制に向けて」自閉症の人のバリアフリーを考える親の会「はぐくみ」ペアレント・メンター伊藤 雅子氏 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか 臨床心理士 岡 あゆみ氏 ・「子育て支援の現状と園での支援について」大阪大谷大学 准教授 井上 寿美氏	2	3	2 1 1	LGBTの研修、人権を大切にしたい研修を実施し、意識を高めることが出来た。	2	こども未来室

事業番号	事業
12	小中学校に男女平等教育・人権教育担当者を置き、男女平等の視点に立った実践事例研修や男女平等教育の研修を推進します。 ◆各校に男女平等教育の担当教員の配置 ◆男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 現状維持 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	1	3	1	1	1	今後も男女平等教育の担当者を置くよう指示する。	2	教育委員会指導室
男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	2	3	3	1	1	今後も研修を行うように指示していく。	2	教育委員会指導室

事業番号	事業
13	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪に関する研修並びに今日的な課題に対して研修を実施します。 ◆各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 現状維持 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
1月にはハラスメント防止指針(4種)を策定及び改訂した。それを活用して管理職及び担当教員を対象として、市教委主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施する予定であったが、コロナウイルス対策のため実施できなかった。	3	2	1	1	1	今年度は全体研修は実施できなかったが、コロナウイルス対策の休業が終われば次年度の早い段階で実施を考えたい。	2	教育委員会指導室

施策④ 家庭での男女平等・男女共同参画の推進

事業 番号	事業
14	固定的な性別役割分担意識に捉われない家庭運営や子育てができるよう、保護者を対象に、男女平等や男女共同参画について学べる家庭教育に関する学習機会を提供します。 ◆モデル校(園)の実践報告会の実施 ◆保護者に対し、保育所・幼稚園における男女平等・男女共同参画推進のための保育の取組について積極的に情報提供を実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1.進んだ 2.やや進ん だ 3.現状維持 4.進まなかつ た			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取り組む、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。	2	3	3	2	2			PTA活動における男女共同参画の視点について、指示する。	2	教育委員会 指導室
・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見てもらい、日頃から男女平等、男女共同参画の視点で保育の取り組んでいることを、知ってもらう。 ・運動会、発表会、園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。	2	3	1	1	1			今後も行事等で啓発していく。	2	こども未来室
①子育て応援講座の開催 「親子で挑戦！アートフラワーアレンジ♪」 開催日：5月12日(日) 参加人数：11組(26人)/定員：15組 ②IRISサイエンス・キャンパスの開催 「パパと一緒に科学実験！！IRISサイエンス・キャンパス お菓子の色の正体は？」 開催日：11月17日(日) 参加人数：15組(35人)/定員：15組	1	3	1	1	1			引き続き、親子で参加できるように、父親が参加しやすいよう配慮に努め、取り組んでいく。	2	人権・男女参 画室

事業 番号	事業
15	家庭教育における悩み・問題について、男女平等・男女共同参画の視点を持ちつつ、解決に導く「教育相談」を充実します。 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3.)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1.進んだ 2.やや進ん だ 3.現状維持 4.進まなかつ た			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
家庭教育での悩み・問題についての相談に応じ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、こども未来室や子ども家庭センターと連携して必要な支援を行った。スクールカウンセラーは、17小学校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、1,668件、相談人数2,213人。中学校での相談人数は、3,154人である。スクールソーシャルワーカーは、3名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	1	1	2	1	1			教育相談や支援体制の充実のため、さらに、スクールカウンセラーの市内小学校配置校を増やし、チーフ・スクールソーシャルワーカーやスクールソーシャルワーカーの活動時間を増やしていく。	1	教育委員会 指導室

施策の方向(2)地域における男女平等学習の推進

施策⑤ 多様な選択を可能にする学習機会の提供

事業番号	事業
16	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆校区别人権研修会 ◆市民カレッジ(指定管理業者が実施) ◆成人教室(琴、茶道、華道) ◆青少年男女共同参画事業 ◆出前講座

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
男女共同参画推進市民実行委員とともに地域のニーズにあわせ、自分らしく輝いて暮らすために、男女共同参画に関する様々なテーマについて話し合い、パワーアップを図り、家庭や地域、社会に参画するきっかけづくりを目的とし、下記の内容で4回実施した。 男女共同参画社会づくり講座 「新しい自分への挑戦～もっと自分らしく生きるヒントをつかもう～」 開催日：9月29日、10月6日、11月3日、11月24日 定員各回30人／申込人数 27人／延べ参加人数99人	1	2	1	1	1	今年度は男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座に代わり、より多くの市民を対象に地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、男女共同参画推進市民実行委員とともに、新しい企画に臨んだ。企画内容を見直しながら来年度も引き続き、上記のような形で実施していく。	2	人権・男女参画室
校区研修において、女性の人権課題などを含む啓発用広報物を配付し、啓発した。	1	3	3	1	1	今後もLGBTなどの課題を含め、各団体と連携して啓発事業に取り組んでいく。	2	人権・男女参画室
平成28年度に開学したいずみ市民大学は、4年目の開講となり、引き続きまちづくり学部と教養学部を設置した。まちづくり学部には22人、教養学部には576人の受講者があった。教養学部は前期6講座、後期6講座の計12講座を実施し、人文科学や社会科学、芸術など専門的な分野を楽しく、分かりやすく学び、自らの知識を広げる講座を展開した。	2	3	2	2	2	平成28年度からスタートした市民大学は4年目を終えた。今後も委託先の管理公社と連携し、事業を継続・発展する。	2	生涯学習課
成人教室(琴、茶道、華道)を開講。市民の生涯学習の推進に努めた。 琴：女性6人、男性1人 茶道：女性10人、男性1人 華道：女性19人、男性0人	2	3	2	2	2	日本の伝統文化を学ぶ機会を提供するため、引き続き事業を実施する。	2	生涯学習課
楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)としてキンボール遊びを夏のユースゼネレーションで実施。冬のユースゼネレーションでポケットボールを実施し、目標(定員各24人)で48人に対し46人(男18人・女28人)の参加があった。	2	3	1	1	1	性別・学年の枠を超えて共に競技し、男女共同意識の育成へ繋がりました。今後も子ども達が参加する中で、楽しみながら自然と男女共同参画の意識が育まれる取り組みをめざす。	2	青少年センター
依頼がなく未実施	3	4	3	2	2	事業実施依頼がなく未実施となった。出前講座以外の手法を考える必要がある。	3	公民協働推進室

事業番号	事業
17	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆広報いずみやホームページ等での周知の充実 ◆シティプラザ通信の発行、モアイずみ通信、広報いずみやHPでの周知の充実 ◆市政情報発信事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
親学習講座など、男女に関わらず参加してもらいたいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。	2	3	2	2	2	今後も多様な媒体を活用し、事業を継続する。	2	生涯学習課
・モアイずみ通信、広報いずみ、和泉シティプラザ通信、HP、いずみメールでイベントや講座の情報を提供を行った。 ・モアイずみフォーラムや男女共同参画週間事業については、コミュニティ誌にも掲載を依頼した。 ・講座のチラシ・ポスターを関係施設に配架した。モアイずみフォーラムについては、校区長会議でポスター掲示等周知を依頼した。 ・他部署がイベント等開催時にチラシの配布協力依頼を行い連携し、周知に努めた。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、広く市民に情報提供を行う。より多くに市民が参加できるよう、情報提供の手法について今後も考えていく。他部署と連携し、より一層の周知を図る。	2	人権・男女参画室
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・LINE@・いずみメールでも情報を配信し、特にSNS関係の情報発信を強化した。	2	2	1	1	1	最近、普及率が高いLINEについて、市LINE友だち登録数を増やし、情報を素早く広く発信できるよう努めていく。	2	いずみアピール課

事業番号	事業
18	生涯を通じた経済的自立の観点からの消費者行政を充実します。 ◆消費者生活啓発出前講座 ◆消費者月間事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
複雑多様化している消費者トラブルに対応し、被害の未然防止と自立した消費者を育成するため、高齢者向け(3回)、小・中学生向け(4回)、大学生向け(1回)、児童の保護者向け(1回)等の出前講座を10回(参加者742人)実施した。(令和2年3月末時点)	2	3	3	1	1	今年度は、学校や教育委員会と連携を行うことができ、小・中学生向け、また教師に対して、出前講座により消費者教育を実施できた。今後も、消費者教育・啓発に努める。	2	福祉総務課
消費者月間(5月)に、和泉府中駅と和泉中央駅市内主要2駅前で啓発ティッシュ2,000個、チラシ2,000枚を啓発活動として配付した。	2	3	3	1	1	市内の主要2駅で啓発活動が行えた。次年度においては、より効果的な啓発方法を検討する。	2	福祉総務課

施策⑥ 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実

事業番号	事業
19	女性のチャレンジを支援するための情報提供や各種講座を実施します。 ◆和泉市男女共同参画センターの図書コーナーの充実

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)			
自分らしく働きたい女性に向けて、好きを仕事にする上での悩みに答えた『好きを仕事に！はじめての起業相談室』の図書購入、自分の美学を貫き、人生を終える決意をする女性を描いた『92歳のパリジェンヌ』や、女性の活躍がまだまだだった時代の興奮と感動を描いた『タイピスト』などのDVDを購入し、図書の充実に努めた。	1	3	1	1	1	引き続き、図書コーナーの広報に努めるとともに、図書・DVDの充実にを図る。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
20	「女と男のフォーラム」の企画・運営等を通して女性のエンパワメントを支援します。 ◆「女と男のフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
和泉市男女共同参画推進市民実行委員会と共同で企画・運営を協働で行い、「モアいずみフォーラム」およびフォトコンテストを開催した。 テーマ: 激変の日本で男女共同参画！～女性の力を加え対応力アップ～ 講師: ルース・マリー・ジャーマンさん 開催日: 令和2年2月2日(日) 参加人数: 201人/定員: 200人	1	2	1	1	1	女性のエンパワメントにつなげられる取り組みの企画・運営だけでなく、男女共同参画に係るフォトコンテストも同時に開催し、女性が活躍する姿をアピールすることができた。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
21	モアイずみ通信やホームページ、さらには「いきいきライフ講座」等を通じて、様々な分野で活躍する女性をロールモデルとして紹介します。 ◆いきいきライフ講座、いずみワクワク講座の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
キラッと輝いて活躍している方の生き方を学び、自分らしく生きることの素晴らしさに気づき、自分の生き方を深めることを目的とし、いきいきライフ講座を実施した。 【いきいきライフ講座】 おしゃれ心と楽しいライフスタイル～起業して開けた新しい人生～ 令和元年9月4日(木) 参加人数:31人/30人定員	1	3	1 1 1	引き続き、講師をロールモデルとした講座を実施し、受講者の気づきにつなげる。	2	人権・男女参画室

施策の方向(3)男性にとっての男女共同参画の推進

施策⑦ 家庭・地域への男性の参加・参画の推進

事業番号	事業
22	男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、学習や交流機会の充実を図ります。 ◆親学習講座 ◆エンゼルハウス運営事業 ◆行事や半日保育参加への呼びかけ ◆「子育て応援講座」「男性学講座」の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
親学習講座など、男女にかかわらず参加してほしいイベントのチラシを関係会報にて配布および和泉市ホームページに掲載した。親学習講座実績:第1回-7人、第2回-18人、第3回-10人、第4回-4人、第5回-15人、第6回-43人、第7回-6人、第8回-6人、第9回-22人、第10回-8人、第11回-17人、第12回-15人、第13回-8人、第14回-7人 計186人	2	3	2 2 2	親に限定せず、小中学校の児童生徒も対象とした親学習講座を継続する。	2	生涯学習課
エンゼルハウスでの親学習を通じて、父親の子育て参加を促し、家族で参加する「Family day」及び「お父さんデー」毎月1回実施。 市内にエンゼルハウス5ヶ所を設置し、運営。 【年間エンゼルハウス参加人数】 ・鶴山台:10,712名 ・府中:9,930名 ・北松尾:13,555名 ・和泉中央:10,525名・青葉台:11,957名	2	3	2 2 2	参加者に対しておおむね支援を行うことができた。今後も引き続き支援体制を図る。	2	こども未来室
父母にかかわらず、半日保育への呼びかけをした。 運動会、発表会では、男性の参加は女性同様に多かった。 発表会においては園児数の多い園では、平日と土曜日の2回行い、父親等の男性が参加しやすくなるようにした。	2	3	1 1 1	参加しやすいように行事の日程を平日と土曜日の両方を可能な限り計画する。	2	こども未来室
子育て応援講座の開催 ①「親子で挑戦！アートフラワーアレンジメント」 開催日:5月12日(日) 参加人数:11組(26人)/定員:15組 ②「乳幼児救命救急講習」 開催日:7月28日(日) 参加人数:22組(35人)/定員15組 ③「こどもの病気ミニ講座～こんなときはどうするの?～」 開催日:8月31日(土) 参加人数:16組(21人)/定員15組 IRISサイエンス・キャンパスの開催 「パパと一緒に科学実験!! IRISサイエンス・キャンパス お菓子の色の正体は?」 開催日:11月17日(日) 参加人数:15組(35人)/定員:15組 【男性学講座】 ①「初めてのメンズヨガ」 開催日:令和元年10月12日(土)、26日(土)※12日は暴風警報発令のため中止 参加人数15人(男性15人女0人)/16人定員	1	2	1 1 1	子育て応援講座は、参加人数全体をとおして父親の参加率は約3割ほどであった。引き続き、男性が参加しやすい講座を企画していく。 男性学講座は、昨年に引き続き、男性をターゲットにしたのは初めてのメンズヨガを実施し、リピーターも多く、申込み人数は29人と定員を大きく上回った。なるべく多くの人に参加いただくため、初めて参加される方の受講を優先的に行った。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
23	男性の意識改革や生活自立のための実践的な家事講座等を実施します。 ◆男性学講座

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
【男性学講座】初めてのメンズヨガ 開催日：令和元年10月12日(土)、26日(土)※12日は暴風警報発令のため中止 参加人数15人(男性15人女0人)/16人定員	1	3	1	1	1	昨年に引き続き、男性をターゲットにしたはじめてのメンズヨガを実施し、リピーターも多く、申込み人数は29人と定員を大きく上回った。なるべく多くの人に参加いただくため、初めて参加される方の受講を優先的に行った。	2	人権・男女参画室

施策の方向(4) 男女平等意識の浸透

施策⑧ 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ

事業番号	事業
24	「何について(男女平等に関する課題)」「誰に向かって(例えば「男性に」等、対象者を絞り込む)」「どんな方法で(広報紙、ホームページ、講演会、「男女共同参画週間」「人権週間」の時に、等)」を的確に判断し、体系的、段階的に市民への啓発活動を進めます。 ◆市政情報発信事業 ◆「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」「女と男のフォーラム」 ◆男女共同参画週間等に合わせた資料展示 ◆市子ども会育成連絡協議会や青少年問題協議会への啓発紙の配布 ◆男女共同参画等に関する資料展示 ◆男女平等の意識を育む ◆中学校区における人権研修会や講演会等の地域への啓発活動の実施 ◆広報・ホームページ

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・LINE@・いずみメールでも情報を配信し、特にSNS関係の情報発信を強化した。(再掲 I-2-5-17)	2	2	1	1	1	最近、普及率が高いLINEについて、市LINE友だち登録数を増やし、情報を素早く広く発信できるよう努めていく。	2	いずみアピール課
①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日: 令和元年6月22日(土) 内容: 映画「ドリーム」上映 参加人数: 351人/600人定員 ②モアイずみフォーラム 開催日: 令和2年2月2日(日) 内容: 激変の日本で男女共同参画! ~女性の力を加え対応力アップ~ 講師: ルース・マリー・ジャーマンさん 参加人数: 201人/200人定員	1	3	1	1	1	男女共同参画の視点を取り入れつつ参加者を確保できる作品選びや広報の方法など工夫し、男女共同参画社会への認識と理解を深めるための啓発を市民に行う。	2	人権・男女参画室
男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)やモアイずみフォーラムで、モアイずみ(和泉市男女共同参画センター)及びモアイずみ登録団体の活動内容を各団体一言メッセージを添えてパワーポイントを上映した。	1	3	1	1	1	引き続き、登録団体の活動内容等を市民に対し周知を行い、協働して参画することの必要性を発信していく。	2	人権・男女参画室
モアイずみフォーラム(女と男のフォーラム)等イベント情報を積極的に情報提供した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、積極的な情報提供を行う。	2	生涯学習課

和泉図書館及びシティプラザ図書館において、男女共同参画週間中コーナーを設け展示を行った。また北部リージョンセンター図書室においては、女性の健康週間中コーナーを設け展示を行った。POPの作成や資料の表紙を見せながら展示するなど、手に取りやすい工夫を行った。	1	3	2	1	1	シティプラザ図書館・和泉図書館・北部リージョンセンター図書室で資料展示を実施した。引き続き複数の図書館で実施していくよう指定管理者と調整していきたい。	2	読書振興課
男性保育士が日々の保育をしたり育児を担当することや、父親の育児参加を呼びかけることで市民に対する性別役割分担意識を解消するための働きかけとなっていると思う。	2	3	2	2	2	日頃から、送迎時等にコミュニケーションをとり働きかけをする。	2	こども未来室
地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するよう、中学校区単位の地域教育協議会での講演会、各校PTAの人権啓発活動(性教育について等)を実施するよう指示した。	2	3	3	2	2	地域で研修会を開いた学校があった。PTA活動に男女共同参画の視点を取り入れるよう指示する。	2	教育委員会指導室
高齢介護室のイベント・講座・高齢者福祉サービスなどの情報を広報いずみやホームページ・いずみメールで人権に関することや男女共同参画について視点に合った適切な表現であるか文言に注意し、作成発信を行った。	2	2	2	2	2	福祉サービスや社会資源を市民が活用できるように引き続き、広報や市のホームページに掲載する。福祉サービスのパンフレットやちらしを作成し情報提供する。	2	高齢介護室

事業番号	事業
25	地域活動において、男女共同参画社会の理解を深めるための出前講座等の内容の充実と広報の強化を図ります。 ◆出前講座での広報の工夫 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
窓口やホームページ等において、出前講座の募集を行った。 令和元年度出前講座件数 98件	2	3	2	2	2	今後も引き続き、出前講座の周知に努める。	2	生涯学習課
令和元年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①モア21「パパと一緒に発酵食品づくり！自家製大豆で白みそを作ろう」「科学者になって環境実験 イオンと食べもの！」 ②ローズウッド「ババママ、家庭でできるフランス料理に初挑戦！第5弾」 ③いずみヒューマンネット「土鍋とフライパンを使った男性のための自己完結型料理」 ④ガールスカウト大阪府連盟104団「晩秋の大茶会 老若男女 Everybody Welcome!!(初心者向け)」 ⑤コトノネ「つながる美味しいごはん♪」	1	3	1	1	1	各団体は、男女共同参画の視点を持って実施することができた。助成金制度については、引き続き積極的に周知し、目標達成に努める。また、目標値を達成することができなかったが、南部地域を中心に活動している団体から初めて申請があり、南部地域で事業を実施することができた。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
26	男女共同参画社会づくりのために啓発冊子を定期的に発行します。 ◆啓発冊子作成業務

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
下記内容を盛り込んだ男女共同参画啓発冊子「だれもが幸せを感じられる社会のために」を作成し、令和2年2月号広報いずみにて全戸配布(全戸配布部数 73,000部)を行い啓発を行った。 (冊子内容) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、男女共同参画国際比較、男女共同参画の視点で考える防災、DV、モアいずみ(男女共同参画センター)施設案内、DV及び女性総合相談、セクシュアル・マイノリティ相談等の相談窓口案内	1	1	2 1 1	南海トラフ地震等の地震に対するリスクが懸念されていること、また近年、大型台風等による自然災害が頻回に発生していることを踏まえ、『男女共同参画の視点から考える防災』について掲載し、市民の防災に対する意識向上を図った。 次年度の啓発冊子作成についても、啓発内容を現在のニーズをふまえて作成する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
27	市民との協働のもと、男女共同参画社会づくりの認識と理解を深めるための啓発イベントを定期的に開催します。 ◆「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日: 令和元年6月22日(土) 内容: 映画「ドリーム」上映 参加人数: 351人/600人定員 ②モアいずみフォーラム 開催日: 令和2年2月2日(日) 内容: 激変の日本で男女共同参画! ~女性の力を加え対応力アップ~ 講師: ルース・マリー・ジャーマンさん 参加人数: 201人/200人定員	1	3	1 1 1	引き続き、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会及びモアいずみ登録団体と協働のもと、啓発活動に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑨ 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上

事業 番号	事業
28	市職員や連携機関の職員等に対して男女共同参画に関する研修等を充実します。 ◆男女共同参画研修 ◆男女共同参画施策推進員の研修の実施 ◆留守家庭児童会指導員研修の実施

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
新規採用職員に対して、男女共同参画についての研修を実施した。 実施日:令和2年1月17日 研修内容:ジェンダーと人権～らしさの神話を問い直す～ 新規採用職員33人中 30人参加	2	3	1	1	1	対象者への個別連絡や重ねてのアナウンスにより昨年度と比較して参加者数が増加した。(19人→30人)	2	人事課
令和元年度男女共同参画推進員研修会 ①テーマ:「セクシュアリティと人権～多様な性とアイデンティティ～」令和元年8月23日開催 参加人数:27人/51人 その他職員等40人 ②テーマ:「ジェンダーと人権～らしさの神話を問い直す～」令和2年1月17日開催 参加人数:39人/51人 新規採用職員28人	1	1	1	1	1	①は性的マイノリティについての理解を深め、性の多様性と個人のアイデンティティの大切さを考える研修とした。 ②は職員一人ひとりの意識変革を促すような研修とし、新規採用職員も参加した。	2	人権・男女参画室
和泉市留守家庭児童会条例の主旨に基づき、児童の適切な遊び場及び生活の場を提供するため、年12回の支援員研修会を実施した。	2	3	3	1	1	指導員の資質向上のため、今後も引き続き研修を実施する。	2	生涯学習課

事業 番号	事業
29	和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の取組を強化します。 ◆和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の開催

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)		1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
「第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)(改定)」及び「和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に関する基本計画(DV防止基本計画)(改定)」の策定について、令和元年度和泉市男女共同参画施策推進本部会議を開催し、各課の取り組み内容等の報告を行った。(令和2年1月30日開催)	1	1	1	1	1	第3期オアシスプラン(改定)について、意思統一を図ることができた。	2	人権・男女参画室

施策⑩ 性に捉われない人権の尊重

事業番号	事業
30	男女の性差についての正しい知識の周知を図るとともに、性的マイノリティへの理解を深めるための啓発を推進します。 ◆モアイずみ通信の発行・図書コーナー等で人権啓発ビデオの貸し出し。 ◆性的マイノリティへの理解を深めるための取組みを推進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)		
・モアイずみ通信3月号にて、LGBTQやLGBTQIA+について紹介し、性的マイノリティの理解を深めるための記事を掲載した。 ・男女共同参画センター図書コーナーにおいて、性的マイノリティの漫画家と周辺のLGBTの人たちとの交流を描いたDVD「性別がない！ インターセックスの漫画家のクリアな日々」等の貸出を行った。	1	3	1	1	1				2	人権・男女参画室
性的マイノリティについて、管理職及び担当者を対象とした研修を実施する予定であったが、コロナウイルス対策のため実施できなかった。 ○テーマ「子どもが安心して過ごせる教育現場のために～セクシュアル・マイノリティとされる子どもへの配慮について～」 ○講師 当事者の中学校教諭	3	3	1	1	1				2	教育委員会指導室

施策⑪ 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供

事業番号	事業
31	男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を継続的に実施します。 ◆男女共同参画に関する市民意識調査(10年に1回)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)		
男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を実施し、次期行動計画策定の基礎資料とする。 ※次期は、令和7年度に実施予定のため、令和元年度は実施していない。	4	4	3	3	3				2	人権・男女参画室

事業番号	事業
32	男女別統計の必要性の啓発を進め、様々な男女別統計を作成します。 ◆統計いずみにおける男女別データの公表 ◆いずみデータブックの作成

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
統計いずみ等を通じ、女性の現状を表する資料として、統計調査の男女別集計結果の公表した。 7件(人口、国勢調査、経済センサス、農林業、工業、教育、行財政)	1	3	1	1	1	総務管財室
結婚と出生(出生数推移等)、政策・方針決定(審議会等の女性委員割合推移等)、教育(男女別学校種類別進学率の推移等)、労働(男女の賃金格差推移等)、女性に対する暴力(配偶者間における犯罪件数等)、国際比較(GII(ジェンダー不平等指数等)を集約した「いずみデータブック2020版」を作成した。	1	3	2	1	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
33	男女共同参画に関する図書や資料の収集と提供を充実します。 ◆男女共同参画に関する資料収集 ◆男女共同参画に関する資料提供 ◆図書コーナーにおける男女共同参画に関する資料の収集

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーを充実させるため、男女共同参画に関する資料を購入した。 「さよなら！ハラスメント」他、計43点	2	3	2	1	1	読書振興課
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーの棚において、本の表紙を見せて展示するなど、手にとってもらいやすいように工夫した。	2	3	2	1	1	読書振興課
モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにおける図書や資料の収集と提供を行った。	1	3	1	1	1	人権・男女参画室

施策の方向(5)人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立

施策⑫ 市の刊行物等の表現の配慮

事業番号	事業
34	市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等は、内閣府男女共同参画局発行の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」に基づいて、男女共同参画の視点を入れ、制作します。 ◆市政情報発信事業 ◆掲示適正な表現であるかの確認 ◆庁内の掲示ポスター、広報紙、ホームページ等を男女共同参画の視点で点検 ◆広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等の作成 ◆発信する刊行物等を男女共同参画の視点で製作・点検 ◆広報・ホームページ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
男女共同参画を視野(デザイン色に関して、男の子は青、女の子は赤などと決め付けず、男女とも共有色である緑色や黄色などの配色に心がけやイラストを使う際、お母さんが赤ちゃんを抱っこしているのではなくお父さんが抱っこしているイラストや女性が料理するイラストではなく男性が料理をするイラストを用いるなど)に入れ、広報いずみやホームページ・Twitter・Facebook・いずみメールを制作した。	1	3	1	1	1	2	いずみアピール課
庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点に立って適正な表現であるかを確認した。	1	3	1	1	1	2	総務管財室
男女共同参画に視点からの公的広報の手引きに基づいて、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ、ホームページを随時点検し、男女共同参画の視点の欠けたものを発見した場合は、速やかに担当課と協議し、改善の要望を行った。	1	3	2	1	1	2	人権・男女参画室
広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等を作成する場合には、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし配慮した。	2	3	2	2	2	2	こども未来室
指導室で作成する刊行物、冊子等の内容や表現について男女共同参画の視点で製作・点検した。	1	2	1	1	1	2	教育委員会指導室
高齢介護室の多様な福祉サービスや教室、相談窓口を広報やホームページ等で周知する。	2	3	2	2	2	2	高齢介護室

施策⑬ メディア・リテラシーの向上

事業 番号	事業
35	メディア・リテラシーの向上のための学習機会を提供します。 ◆学校における「情報モラル教育」の実施 ◆メディア・リテラシーに関する資料展示 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進ん だ 3.現状維持 4.進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
ICTコンピュータネットワークの整備に伴い、インターネットのフィルタリング についての研修をはじめ、情報モラル教育について、資料や研修講師などの 情報を各学校に提供し、各校での子ども対象の学習会を推進させた。	1	2	1	1	1	スマホやケータイの 子どもたちへの普及 が急速に進み、ネット トラブルについての学 習をする機会を、小 学校低学年向けにも 拡充した。今後もさら に学習機会の拡充を 進める。	1	教育委員会 指導室
シティプラザ図書館において、女性に対する暴力をなくす運動期間に伴い、 人権尊重の視点で情報を読み解き、活用する能力を養えるよう、DV防止関 連図書のコーナーを設置した。	2	3	2	2	2	図書館の利用者に 「女性に対する暴力」 について考えたり情 報を得る機会を持っ てもらえるようコー ナーの設置に取り組 んだ。来年度も引き 続き取り組んでいく。	2	読書振興課
下記の日時と内容でメディア・リテラシーの講座を開催予定だったが、新型コ ロナウイルス感染拡大防止のために中止。 タイトル: 私たちを取り巻く情報のウソ・ホント～メディアの裏側を探ってみよう ～ 開催日: 3月30日(月) 定員: 30人	1	3	1	1	1	引き続き、講座を企 画・実施し、メディア・ リテラシーの向上を 図る。	2	人権・男女参 画室

事業 番号	事業
36	性的感情、暴力性を助長するような有害図書・ビデオ及び喫煙・飲酒・薬物乱用等悪影響を及ぼすことについて大阪府と連携し、環境の改善を図ります。 ◆全小学校区での定期的な巡回/パトロールの実施 ◆「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1.進んだ 2.やや進ん だ 3.現状維持 4.進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
青少年指導員協議会に対し、校区ごとに巡回/パトロールの強化を依頼した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を実施する。	2	生涯学習課
毎年7月の青少年の非行・被害防止全国強化月間にあわせ、青少年を非行から守る市民大会を開催し、啓発に取り組んだ(参加者数110人)。6月に街宣車で市内全校区を巡回し、青少年の非行・被害防止全国強化月間等について啓発を行った。	2	3	2	2	2	青少年の非行防止のため、今後も引き続き事業を行う。	2	生涯学習課

基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する 施策の方向 6 意思決定の場への女性の参画の推進

施策⑭ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方

事業番号	事業
37	市民・事業者・行政等のあらゆる分野にポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方を導入し、男女共同参画を推進します。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の周知 ◆ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方についての啓発 ◆町会等への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)			
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 181名（うち女性34名）	1	2	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績（32名）を上回った。	2	人事課
女性活躍推進法や男女雇用機会均等法等について、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。	2	3	3	1	女性活躍推進法や男女雇用機会均等法等について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
・市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載を行い女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。 ・庁内においては、審議会等委員選考前の各部署との「事前協議」にてポジティブ・アクションの考え方について推進強化を行った。	1	2	1	1	引き続き、あらゆる分野にポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方を導入することの重要性について啓発していく。	2	人権・男女参画室
12月校区長会議（令和元年12月18日開催）「モアいずみフォーラム」チラシの掲示依頼（令和元年度） 町会連合会に属する町会長 199人（うち女性 18人 男性181人）	2	2	2	2	校区会長会議等を通じ男女共同参画を啓発していく。	2	公民協働推進室
社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用にに向けた説明を行った。 【役員人数】 和泉市PTA協議会（女性9人、男性27人）計36人 和泉市青少年指導員協議会（女性0人、男性27人）計27人 和泉市子ども会育成連絡協議会（女性3人、男性13人）計16人 和泉市文化協会（女性23人、男性20人）計43人	2	3	2	2	今後も引き続き、各種団体に積極的な女性登用を啓発する。	2	生涯学習課

施策⑮ 審議会等への女性の参画の推進

事業 番号	事業
38	市の審議会等の附属機関や行政委員会等の女性委員の比率を、平成36(2024)年までのできるだけ早い時期に40%の達成をめざします。 ◆女性委員の参画率

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
①女性委員の登用についての庁内周知 平成31年4月に全庁に向け、女性委員の登用について通知を行った。(通知回数1回) ②事前協議の強化 和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、一部改正を行うことにより、事前協議の強化を図った。(平成31年4月から実施) ③登用率の低い機関について取組強化を図るため個別にヒアリングを実施。	1	3	1 1 1	引き続き、関係各課(室)へ働きかけを行い、目標を達成するよう協議強化に努める。 来年度は、女性委員の参画率が低い附属機関に対して、委員選定について報告書の提出を求め強化を図る。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
39	女性委員がいない審議会等に対しては、『0から1』への働きかけを行い、女性委員のいない審議会等の解消をめざします。 ◆事前協議の強化

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
女性委員0人の審議会等は3件あった。事前協議の強化及び個別ヒアリングを実施し、次期の委員改選時には、委員選定時の基準の見直し等改善を促し、女性委員0人の解消をめざす。(参考平成30年度は6件)	1	2	1 1 1	令和2年度より女性委員の登用率が低い附属機関に対し、委員選定について報告書の提出を求め強化を図る。	1	人権・男女参画室

事業 番号	事業
40	意思決定過程への女性の参画を推進するため、審議会等における委員の選出方法の見直しを進めます。 ◆先行市の取組研究

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
令和元年度に「委員改選」を行う附属機関を所管する部署で特に女性の登用率の低い機関を選定してヒアリングを実施し、女性委員の登用促進を行った。 ヒアリング実施機関: 11機関	1	1	1 1 1	次年度において、女性の登用率40%未満のすべての附属機関等を所管する部署において、事前協議を強化する方策を検討する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
41	審議会委員等の委員の改選時は、男女共同参画所管部長との事前協議を行います。 ◆事前協議

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
審議会等の委員改選時には、事前協議にて女性委員の参画率40%をめざし協議を行った。 委員選出依頼文に、市の職員を選定する際の基準についての見直し、女性委員登用の主旨の記載をするよう依頼、また、充て職等委員構成の見直し依頼などを行った。 平成31年4月1日現在 登用率29.2%	1	3	2 1 1	和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、一部改正を行うことにより、事前協議の強化を図った。(平成31年4月から実施)	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
42	女性が政治や政策・方針決定の場への参加・参画することの重要性について、市民に啓発します。 ◆市民啓発

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
和泉市男女共同参画推進市民実行委員会及びネットワーク会議において、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発し、公募市民委員の応募促進を図った。	2	3	1 1 1	引き続き、意思決定の場への女性の参画推進について啓発を行う。	2	人権・男女参画室

施策⑩ 女性職員・女性教員の管理職への登用

事業番号	事業
43	女性職員・教員の職務内容の見直しと職域の拡大を図ります。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆残業の見直し、サポート体制の整備 ◆人材育成、管理職候補者の育成についてヒアリングを行う。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 181名(うち女性34名)(再掲Ⅱ-6-14-37)	1	2	1 1 1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績(32名)を上回った。	2	人事課

長時間労働の是正など、仕事と家庭生活を両立しやすい職場づくりを進めるため、OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図った。 時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、削減に向けた働きかけを行った。 ・OJT研修(職階別研修) 対象 主任昇格対象者 参加人数 33人(男性11人 女性22人)	2	3	1	1	1	OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図ったほか、時間外勤務については昨年度と同程度の削減に成功した。	2	人事課
各校園において、女性教職員が校務の中心となり、積極的に学校運営等に参画できる組織づくりと人材育成について取り組むよう校長園会等で指示した。 また、人事ヒアリングを通して女性管理職候補者の掘り起こしと育成について状況を把握し、必要に応じて指導・助言を行った。	2	3	1	2	3	今年度も教頭職においては女性管理職を複数名配置することができた。また、首席や指導教諭についても少しずつ女性教員の割合が増えつつある。今後も女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルの、イメージをつかみやすくするため、引き続き女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。	2	教育委員会指導室

事業番号	事業
44	女性職員・教員及び管理職に対する研修(教育訓練)を充実します。 ◆女性リーダー養成のための研修 ◆係長級昇任試験の受験者数向上 ◆学校におけるミドルリーダー研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
				(1)	(2)	(3)			
女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、階層別研修に参加を促し、女性職員の意識改革やリーダーを育てる力の向上を図った。 ①テーマ:組織マネジメントについて学ぶ。 対象:部長級・次長級(56人(男性50人・女性6人) 参加人数:41人(男性35・女性6人)) ②テーマ:仕事を効率的に行うために、上司や部下とのよりよい関係を構築し、組織におけるチーム力を向上させる。 対象:新任係長級(22人(男性17人・女性5人) 参加人数:17人(男性16人・女性3人)) ③テーマ:結果を出す組織を作るために、コミュニケーション力でリーダーシップを発揮し、また後輩育成に必要なOJT指導スキルを学ぶ。 対象:主任昇格対象者(39人(男性13人・女性26人) 参加人数:33人(男性11人・女性22人))		2	3	1	1	1	職階毎にマネジメントやリーダーシップなどにおいて必要な能力の取得を促すことで、施策の推進に寄与した	2	人事課
係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したeラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出を行った。 令和元年度対象者 197 名 (うち女性職員 122名) 受験者 64 名 (うち女性職員 17名) 受験率 32.5 % (うち女性職員 13.9%)		2	2	1	1	1	係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したeラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出、参考問題集等の紹介を行った。	2	人事課
女性教員の管理職選考の受験者を増やすため、校長会や学校訪問時および人事ヒアリング等を通じて、呼びかけを行った。 今年度は、「ミドルリーダー研修」の一環として、指導室内他部署と連携し「学年主任研修」を実施した。複数の女性教員の参加があった。		2	2	2	2	2	本研修について、各学校の校内研修や修学旅行等の学校行事と重なりにくい2学期後半に複数日設定し、参加しやすいような配慮を行った。今後も女性教職員の参加率の向上に向け、ミドルリーダーとしての自覚を育てるよう校長会等で周知する。	2	教育委員会指導室

事業番号	事業							
45	管理職への女性職員・教員の登用比率を高めるため、数値目標を掲げ、その達成をめざします。 ◆女性職員の管理職登用 ◆女性教職員の管理職任用を積極的推進							
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。								
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。								
実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度 【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課			
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 181名(うち女性34名)	1	2	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績(32名)を上回った。	2	人事課
和泉市立学校教職員人事基本方針の中に「女性教職員の管理職任用を積極的に推進する」と明記していることを踏まえて、校長会等において積極的に働きかけを行い推進を図った。 また、学校訪問時に女性教員の積極的な学校運営への参加を促し、管理職への意識づけを行うことを指示した。 さらに、教育長による校長面談に、OJTや「教職員の評価・育成システム」等を活用して女性教員の計画的な育成を指示した。 R1年度 女性校長(小:2名 中:1名) 女性教頭(小:8名 中:0名)	2	2	1	2	2	女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルの、イメージをつませる。そのため引き続き女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。	2	教育委員会指導室

施策⑪ 事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進

事業番号	事業
46	事業者等に対し、女性の活力があつてこそその経済成長であるとの認識に立って、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の導入等、女性の採用・管理職の登用の重要性について啓発します。 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆事業者への積極的な情報提供
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。	
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。	

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
女性の採用・管理職の登用等、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。	2	3	3	1	1	ポジティブ・アクションの導入等について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
・事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、双方から情報を発信した。 ・市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載し、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。	1	3	1	1	1	引き続き情報収集に努める。連携しながら発信する。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
47	地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。 ◆町会等への働きかけ(Ⅱ-6-14-37再掲) ◆老人クラブ連合会への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発する。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進ん 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
12月校区長会議(令和元年12月18日開催)「モアいずみフォーラム」チラシの 掲示依頼 (令和元年度) 町会連合会に属する町会長 199人(うち女性 18人 男性181人) (再掲 Ⅱ-6-14-37)	2	2	2	2	2	校区会長会議等を通 じ男女共同参画を啓 発していく。	2	公民協働推 進室
老人クラブの若手会員を対象とする、高齢者の健康等生きがいづくりを推 進するリーダーを育成を目的とするシニアクラブ大阪健康づくり大学校講座 に参加した。 男性1名、女性1名 令和元年度老人クラブ連合会役員数: 男性29名、女性5名、計34名	2	2	1	1	1	引き続き啓発及び研 修の機会を提供して いく。	2	高齢介護室
社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシ スプランの意図を説明し、積極的な女性の登用にに向けた説明を行った。(再 掲Ⅱ-6-14-37) 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性9人、男性27人)計36人 和泉市青少年指導員協議会(女性0人、男性27人)計27人 和泉市子ども会育成連絡協議会(女性3人、男性13人)計16人 和泉市文化協会(女性23人、男性20人)計43人	2	3	2	2	2	今後も引き続き、各 種団体に積極的な女 性登用を啓発する。	2	生涯学習課

施策⑩ 女性の人材育成

事業 番号	事業
48	行政や地域で活躍できるよう人材を育成します。 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進ん 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
男女共同参画推進市民実行委員と共催し、地域で活躍できる人材を育てる ことを目的として企画し、下記の内容で4回実施した。 男女共同参画社会づくり講座 「新しい自分への挑戦～もっと自分らしく生きるヒントをつかもう～」 開催日: 9月29日、10月6日、11月3日、11月24日 定員各回30人／申込人数 27人／延べ参加人数99人	1	2	1	1	1	今年度は男女共同参画 社会づくりアドバイザー 養成講座に代わり、行 政や地域で活躍できる よう人材を育成し、また 仲間づくりを目的とし、 男女共同参画推進市民 実行委員とともに、新し い企画に挑戦した。 企画内容を見直しなが ら来年度も引き続き、上 記のような形で実施して いく。	3	人権・男女参 画室

事業番号	事業										
49	女性のさらなるエンパワメントをめざす講座を実施します。 ◆モアいずみ(男女共同参画センター)で講座・講演会等の実施										
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。											
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
【いきいきライフ講座】 おしゃれ心と楽しいライフスタイル～起業して開けた新しい人生～ 令和元年9月4日(木) 参加人数:31人/30人定員		1	3	1	1	1	活躍している方の生き方を学び、自分らしく生きることの素晴らしさに気づき、自分の生き方を深めていくことを目的に実施。若い男性の参加者もあつた。引き続き、男女がともに参加・参画する必要性についての意識啓発に努める。			2	人権・男女参画室

事業番号	事業
50	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の修了生や男女共同参画センター登録団体が、地域活動で活躍している状況等を通して、女性リーダーを発掘し、審議会委員等として活躍してもらえるように働きかけます。 ◆審議会等の市民委員への応募の働きかけ
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。	
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。	

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)で開催されるネットワーク会議等で男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座修了生やモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)登録団体に対し、随時審議会等の市民公募委員等に募集するよう働きかけを行った。	1	3	1	1	1	意思決定の場への参画推進についての意識醸成に努め、引き続き働きかけを行う。	2	人権・男女参画室

施策の方向（７） 男女共同参画で進める就労支援

施策⑭ 男女が共に働きやすい職場づくりのための支援

事業番号		事業							
51	男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の紹介をします。 ◆事業者の事例紹介								
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。				
実施状況（事業報告）		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
女性就業支援全国展開事業を活用し、商工会議所と連携して市内企業と市民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの理解を深め、誰もが安心して働ける職場づくりを目的とする研修会研修会を開催。 日時：10月30日（水） タイトル：ワーク・ライフ・バランスセミナー～働きたくなる企業をめざして～ 参加人数：32人／定員：70人		1	2	1	1	1	女性就業支援全国展開事業を活用し、ワーク・ライフ・バランスの意義や働き方を見直すことができた。引き続き、より多くの事業者が参加できる研修会の実施に努める。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
52	市の「男女共同参画推進事業者等事業助成制度」や国の「両立支援等助成金」の周知を積極的に行います。本市の事業助成について、推進事業のための支援をします。 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1. 進んだ 2. やや進ん だ 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
女性就業支援全国展開事業を活用し、商工会議所と連携して市内企業と市民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの理解を深め、誰もが安心して働ける職場づくりを目的とする研修会研修会を開催。 日時: 10月30日(水) タイトル: ワーク・ライフ・バランスセミナー～働きたくなる企業をめざして～ 参加人数: 32人／定員: 70人 (再掲Ⅱ-7-19-51)	1	2	1	1	1	女性就業支援全国展開事業を活用し、ワーク・ライフ・バランスの意義や働き方を見直すことができた。引き続き、より多くの事業者が参加できる研修会の実施に努める。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
53	男女雇用機会均等法や労働基準法、育児・介護休業法等、労働に関する法律や制度に関する情報の周知を図ります。 ◆法律や制度に関する情報の周知 ◆事業者への積極的な情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1. 進んだ 2. やや進ん だ 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
男女雇用機会均等法や労働基準法等、労働に関する様々な法律や制度に関する情報について、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。	2	3	3	1	1	男女雇用機会均等法や労働基準法等、労働に関する様々な法律や制度に関する情報について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、情報を発信した。 市ホームページでは、女性活躍「見える化」サイトの掲載や、大阪府女性活躍推進月間(9月)に加え、ワーク・ライフ・バランスについても掲載し、啓発を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、労働に関する法律や制度等の情報の周知を行った。	1	3	1	1	1	引き続き、情報収集に努め、収集した情報は積極的に発信する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
54	男女雇用機会均等法の定着を図る中で、企業・団体等においてセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の研修の重要性を働きかけます。 ◆セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止研修会の実施 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
ハラスメント対策等について、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。 和泉市企業人権協議会ニュースでパワーハラスメント対策について掲載。また、会員事業所に研修用書籍を配付した。	2	3	3	1	1	ハラスメント対策等についてチラシ等の配架や市ホームページで情報提供するとともに、研修実施等呼びかける。	2 商工労働室
人権・男女参画室及びモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)でセクシュアル・ハラスメント等のDVDや書籍の貸出を行ったが、貸出件数は2件だった。	1	3	1	1	1	市ホームページで事業者向けの啓発ページを作成する等、積極的な啓発を実施できなかったため、来年度は啓発ページを作成し、情報提供に努める。	1 人権・男女参画室

事業番号	事業
55	男女の均等な雇用の機会と待遇確保が実現されるよう「男女雇用機会均等月間」等の周知に努めます。 ◆「男女雇用機会均等月間」等の周知 ◆男女雇用機会均等月間等についての周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
女性活躍推進法や男女雇用機会均等法等について、大阪府のパンフレット等を配架し、周知を図った。	2	3	3	1	1	男女雇用機会均等法等について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2 商工労働室
・商工労働室と連携し、情報提供する。 ・モアいずみの掲示板に男女雇用機会均等法等の情報を掲示し、周知を行った。	2	3	2	1	1	平成31年度はホームページに掲載できなかった。来年度は啓発ページを作成し周知に努める。	1 人権・男女参画室

事業番号	事業
56	様々な媒体を通じて、仕事と育児・介護の両立支援制度や女性の管理職を増やすポジティブ・アクション(積極的改善措置)等、女性の就労継続のための情報を提供します。 ◆女性の就労継続のための情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
【働く女性応援講座】 「おうちヨガで心も体もリラックス！」 ①7/26「マインドフルネスを体験しよう～ストレス軽減、集中力UP効果～」 参加人数15人/16人定員 ②8/2「肩こり、腰痛緩和、ぽっこりお腹解消！～健康とダイエット効果～」 参加人数16人/16人定員 【再就職チャレンジ支援講座】 (1)「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) ①12/5「103万・130万・150万円の壁を知ろう ～知らないで損する扶養・保険・税金・年金の話～」 参加人数38人(女性38人男性0人)/20人定員 ②12/12「わたしの棚卸し～自分の強みを知る～」 参加人数15人(女性15人男性0人)/20人定員 ③12/19「就活準備セミナー 実践編～働きたい そんな思いを実現するために～」 参加人数12人(女性12人男性0人)/20人定員	1	3	1	1	1	女性のための再就職支援チャレンジ講座を実施および働く女性応援講座を夜間の講座として実施し、女性の就労継続のための支援を行った。今後も引き続き、女性の就労支援に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策② 女性の就労支援

事業番号	事業
57	出産等で離職した女性や起業等をめざす女性を支援するため、講座や能力開発のための講習等を実施します。 ◆若者支援セミナー・職業能力開発事業 ◆再就職チャレンジ支援講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
若者支援セミナーの参加者114名のうち女性は87名。職業能力開発講習会の介護職員初任者研修講習会は参加者14名のうち女性は11名、工場作業にける技能講習会は参加者13名のうち女性は3名、医療事務医科講習会は参加者15名のうち女性は15名。 また、ハローワーク泉大津、男女共同参画担当と連携し、「女性のためのお仕事応援セミナー」を実施。うち労働政策担当の「103万・130万・150万円の壁を知ろう～知らないで損する扶養・保険・税金・年金の話」には38名の女性が参加。	2	3	2	2	2	出産等で離職した女性が再就職等に繋がるとような講習会を調査し、実施していく。	2	商工労働室
【再就職チャレンジ支援講座】 (1)「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) ①12/5「103万・130万・150万円の壁を知ろう ～知らないで損する扶養・保険・税金・年金の話～」 参加人数38人(女性38人男性0人)/20人定員 ②12/12「わたしの棚卸し～自分の強みを知る～」 参加人数15人(女性15人男性0人)/20人定員 ③12/19「就活準備セミナー 実践編～働きたい そんな思いを実現するために～」 参加人数12人(女性12人男性0人)/20人定員	1	3	1	1	1	今後も引き続き、ハローワーク、商工労働室と連携し、情報提供や講座の実施に取り組み、再就職を支援する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
58	和泉市無料職業紹介センターにおける女性に対する職業紹介や相談、情報提供を充実します。 ◆和泉市無料職業紹介センター事業

- 【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ とやや進んだ は現状維持 は進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
性別に関わらず、その人に合った就職ができるよう情報提供や職業紹介等を行なった。就職者数90人のうち57人が女性。	2	3	2	2	2	性別に関わらず、その人に合った就職ができるよう情報提供や職業紹介等を行なう。	2	商工労働室

事業番号	事業
59	ハローワークとの連携を図り、職業相談、紹介の情報提供を積極的に行います。 ◆就職情報フェア事業

- 【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ とやや進んだ は現状維持 は進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
ハローワーク等と連携し、一般と障がい者の求人で就職情報フェアを9月に開催し、92名の参加があった。45件面接のうち4件採用。	2	3	3	2	2	ハローワークとの連携を図り、就労相談や職業紹介等に関する情報提供を積極的に行うことにより、市民の就労を支援するとともに、ハローワークその他関係機関との共催にて合同面接会を開催する。	2	商工労働室

事業番号	事業
60	起業しようとしている市民に対して、セミナーや相談窓口の情報の周知を図ります。 ◆若者支援セミナー ◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施 ◆セミナーや相談窓口の情報提供

- 【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ とやや進んだ は現状維持 は進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
ビジネスパソコン講座やファイナンシャルプランナーによる保険や税金の知識等、起業に役立つセミナーを開催するとともに、起業に関するセミナー等の案内を窓口配架。 セミナー参加人数152人(うち女性 125人)	2	3	2	2	2	起業に関するセミナー等の案内を窓口配架、情報提供を行うとともに、起業・就職に役立つセミナーを実施する。	2	商工労働室

年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・平成31年4月1日から令和2年3月31日 相談等の総件数592件(見込)うち女性を含んだ件数116件(見込)	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
モアイずみ(男女共同参画センター)で実施する再就職チャレンジ支援講座の受講生に対して、商工労働室のセミナーの情報を提供し、モアイずみが開催する再就職チャレンジ支援講座を商工労働室やハローワークへ情報提供を行った。 また、実際に起業を経験した講師を招き、いきいきライフ講座「おしゃれ心と楽しいライフスタイル～起業して開けた新しい人生～」(令和元年9月4日(木)参加人数:31人/30人定員)を実施した。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
61	自営業等に従事する市民を対象に相談・指導、場所の提供等の情報提供を行います。 ◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施(Ⅱ-7-20-60再掲) ◆女性就労のため相談・指導・情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・平成31年4月1日から令和2年3月31日 相談等の総件数592件(見込) うち女性を含んだ件数116件(見込)	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
農業に就労を希望する女性からの相談はなかった。	3	3	3	1	1	今年度は女性からの相談はなかったが、引き続き事業を継続していく。	2	農林課

事業番号	事業
62	農業の重要な担い手として、農業女性の資質の向上を図るため、農業女性活動組織の育成・支援を行います。 ◆農業経営担い手育成事業 ◆和泉ファームステイ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
事業案内のホームページに女性が作業している写真を掲載するなど、より女性が参加しやすいように配慮した。 和泉農業担い手塾参加者16名(男12・女4)	2	4	3	1	1	次年度以降も、引き続き事業を行っていく。	2	農林課
ファームステイ参加者募集に関して、ホームページ等に女性が作業を行う様子の写真を使い、女性がより参加しやすいよう配慮したものの、ファームステイ自体への参加が無かった。 ファームステイ参加者数1名(男1・女0)	3	4	3	1	1	ファームステイについては今後の可否について検討、整理していく。	2	農林課

事業番号	事業
63	高齢者に対する経済的自立に向けた就労の機会の拡大と、雇用の安定を企業等に働きかけます。 ◆求人開拓事業 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
本事業については和泉商工会議所へ委託しており、高齢者を含む就職困難者向けの求人情報を収集し、就職に結びつけることが出来た。	2	3	3	2	2	高齢者向けの求人等、昨今のニーズにあった求人情報を収集していく。	2	商工労働室
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。令和元年度シルバー人材センターの会員数 1,766人	2	2	1	1	1	引き続き、紹介の機会を増やす必要がある	2	高齢介護室

施策の方向（８） 男女共同参画で進める地域づくり

施策② 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援

事業番号	事業
64	若者、働き盛り世代、定年を迎えた世代等が地域活動に参加するきっかけをつかめるよう、学習や交流の場の充実を図るとともに、情報提供を工夫します。 ◆和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業 ◆成人教室の内容の充実と情報提供の工夫

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
ボランティア団体やNPO法人といった市民活動団体が行う事業に対して、市民のみなさんが支援したいこれらの事業を行う団体を選択し、市へ届出をすることにより、その選択届出数に応じて市がその市民活動団体の実施する事業へ支援金を交付する。令和元年度は37団体。投票率14.7％	2	3	3	1	1	37団体に対して、投票率14.7％であった。今後も、男女問わず、施策決定に関与することができるように努めるとともに、より多くの市民のみなさまに投票してもらえるように努力する。	3	公民協働推進室
広報いずみやホームページでの紹介のみならず、各種講座開催の際に情報の提供を行った。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

事業番号	事業
65	男女が共に担う地域活動に関する支援制度の強化、充実を図ります。 ◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
アイ・あいロビー教室 毎月第3土曜日開催 参加者187名 普通救命講習会 毎月第1日曜日開催 参加者24名 夏休み親子ふれあい日帰りキャンプ 令和元年8月10日開催 参加者121名 夏休み親子福祉体験講座 令和元年8月20日開催 参加者41名 ボランティア・市民活動交流サロン 令和元年7月18日参加者75名、令和元年2月18日参加者74名 災害ボランティア講座 令和元年7月31日開催 参加者36名 ボランティア・市民活動入門講座 令和元年9月18日開催 参加者30名 NPO・市民活動支援講座 令和元年10月14日開催 参加者27名 ボランティア・市民活動フェスティバルイベント 令和元年11月2日開催、参加者1,800名	2	2	3	1	1	参加者が昨年度より減少している。参加者を得るため交流会等を実施し、今後も、男女参画社会の実現に寄与するための施策を実施する。	2	公民協働推進室
令和元年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①モア21「パパと一緒に発酵食品づくり！自家製大豆で白みそを作ろう」「科学者になって環境実験 イオンと食べもの！」 ②ローズウッド「パパママ、家庭でできるフランス料理に初挑戦！第5弾」 ③いずみヒューマンネット「土鍋とフライパンを使った男性のための自己完結型料理」 ④ガールスカウト大阪府連盟104団「晩秋の大茶会 老若男女 Everybody Welcome!!(初心者向け)」 ⑤コトノネ「つながる美味しいごはん♪」	1	3	1	1	1	各団体は、男女共同参画の視点を持って実施することができた。助成金制度については、引き続き積極的に周知し、目標達成に努める。また、目標値を達成することができなかったが、南部地域を中心に活動している団体から初めて申請があり、南部地域で事業を実施することができた。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
66	PTA、こども会、自治会、地域ボランティア等の活動に、男女が共に参加・参画できるよう啓発します。 ◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業 ◆和泉市PTA協議会・こども会育成連絡協議会への情報提供 ◆地域福祉推進事業

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ボランティア登録数95人(女性65人:男性30人)令和2年3月31日現在。	2	2	3	1	1	令和2年3月31日現在、男性比率は31%となっており、今後も目標値に向け取り組む。	2	公民協働推進室
モアいずみフォーラム(女と男のフォーラム)等イベント情報を積極的に情報提供した。(再掲 I-4-8-24)	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

各地域の福祉課題について話し合い、課題解決に向けての検討を行いました。18校区で合計54回協議の場を開催した。【和気(1回)、伯太(1回)、池上(2回)、黒鳥(5回)、芦部(3回)、南池田(2回)、北松尾(5回)、南松尾はつが野(3回)、横山(3回)、幸(1回)、信太(1回)鶴山台南(1回)、鶴山台北(3回)、緑ヶ丘(9回)、光明台南(4回)、光明台北(1回)、いぶき野(4回)、青葉はつが野(5回)】	2	2	3	2	2	今年度は、21小学校区中18小学校区での開催に留まった。次年度は全小学校区で開催できるよう支援を行っていく。	2	福祉総務課
--	---	---	---	---	---	--	---	-------

施策② 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備

事業番号	事業
67	子育て中の家族、高齢者、障がいのある人、在住外国人等様々な人々のニーズの違いを反映した防災・災害復興対策を推進するために、自主防災組織や町会・自治会等に女性の参画を促進します。 ◆市民防災啓発事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
出前講座の内容については、避難所運営ゲームやクロスロードゲームを通じて女性視点の重要性を講義した。特に避難所運営を実施する際には女性や子育てに配慮した避難所の開設が必要となるため、運営組織への女性参画は必要不可欠であることを盛り込んだ。 令和元年度37回開催(1466人参加)	2	2	1	1	1	子育て中の家族、高齢者等に対するの講義については今後も継続して行い、より多くの方を対象に啓発を実施していきたい。今後の課題については外国人を対象とした啓発活動であるため、取り組み内容について研究していきたい。	2	公民協働推進室

事業番号	事業
68	災害・復興時の自助・共助や地域コミュニティが、重要であるという観点に立った啓発を行います。 ◆市民防災啓発事業 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
出前講座の内容については、近年の災害状況を踏まえ、「自助、共助、公助は7:2:1の割合であるとされている」など、自助と共助の重要性を講義した。また和泉市内全21校区199町会を対象としたワークショップを実施し自助・共助を行ううえで、どのような事前準備が必要であるかを盛り込んだ。 令和元年度37回開催(1466人参加)(Ⅱ-8-22-67再掲)	2	2	1	1	1	多くの町会・自治会に対して自助・共助の重要性を講義することができた。今後については、自主防災組織の設立や地域での防災訓練の重要性を促していきたい。	2	公民協働推進室
下記の日時と内容で防災講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。 タイトル:防災クロスロードゲーム～女性の視点で考える災害への備え～ 開催日:2月28日(金) 定員:30人	1	3	1	1	1	引き続き、男女共同参画の視点を持った防災に関する講座を実施していく。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
69	地域における防災リーダーとして、女性消防クラブ等の充実を図ります。 ◆和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会 ◆和泉市ブロック別防災訓練 ◆市民防災育成事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
兵庫県淡路市野島断層北淡震災記念公園で視察研修を行い、防災に係る知識や防災意識の向上を図った。	1	1	1	1	1	2	消防予防課
ブロック別防災訓練にて非常炊き出し訓練を実施し地域住民に提供した。	1	1	1	1	1	2	消防予防課
地域防災力育成講座では平常時・災害時にとるべき行動や実際に体育館を活用した避難所運営のシュミレーション等を行い、より実践的な場面を想定した研修・訓練を実施した。また防災リーダーや各自主防災組織の交流を深めることもできた。	1	2	1	1	1	2	公民協働推進室

事業番号	事業
70	男女共同参画の視点を取り入れた、防災計画や防災マニュアルの策定に努めます。 ◆地域防災計画事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
近年発生した災害や、今年度策定した和泉市災害時受援計画の内容等を踏まえて、男女共同参画の視点を取り入れて時期改正できるよう調査・研究を行っている。	2	3	1	1	1	2	公民協働推進室

施策② 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり

事業番号	事業
71	ひとり暮らしの高齢者に対し、生活支援をするとともに、社会的孤立を防ぎ、地域社会との交流を深めるための生きがいづくりを推進します。 ◆街かどデイハウス ◆ふれあい食事サービス助成事業 ◆老人クラブ活動補助事業

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
市内8ヶ所で任意団体・NPO法人が運営し、地域高齢者が集い、交流することで地域コミュニティの形成に寄与した。各施設にて介護予防・認知症予防の取り組みを実施し、利用者の健康維持・増進を図ることができた。	2	3	2	2	2	利用者・スタッフが高齢化しているが、双方が協力し、介護予防や引きこもり防止を図ることができた。	2	高齢介護室
地域の集会所等を利用して高齢者に対して食事サービスを提供するボランティア団体に、参加者一人一日当たり500円の助成金を交付し、市民の積極的な社会福祉活動を促し、高齢者の生きがい対策を推進した。 平成31年度においては、北松尾校区、信太校区において実施。令和元年度ふれあい食事サービス受給者数 81人 延べ利用人数 549人、延べ実施回数 24回	2	3	1	1	1	団体数が減っているのが課題	2	高齢介護室
老人クラブ活動の活発化を図り高齢者福祉の増進につなげた。 社会福祉・地域福祉の増進を図るため助成を行った。 老人クラブがあることで高齢者同士の親睦や助け合い等地域での自立生活の励みとなった。 老人クラブ連合会の発展の励みとなった。令和元年度老人クラブの会員数13,097人(うち、女性7,700人)	1	2	1	1	1	会員の増加をめざし、活動を活性化していく。	2	高齢介護室

事業番号	事業
72	利用できる福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう、あらゆる機会を通じて市民に情報提供を行います。 ◆地域包括支援センターの実施 ◆和泉市障がい者基幹相談支援センター等での情報提供 ◆地域福祉総合相談員配置促進事業

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
市内4箇所の地域包括支援センターに対し、福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう地域包括支援センターの専門職や、基幹型の専門職に対して会議やヒアリングなどの場等で相談・支援を行った。 令和元年度地域包括支援センター総合相談件数 4,736件	2	3	2	2	2	引き続き、相談・支援体制の構築に取り組みたい	2	高齢介護室

利用できる福祉サービス、地域の社会資源(事業所情報)等について、障がい者基幹相談支援センター等において情報提供を行った。 障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計468人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,972件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が634件(延べ件数)等である。	2	3	3	1	1	平成30年度に作成した社会資源集を活用しながら、引き続き、利用できる福祉サービスや地域の社会資源について、情報提供を行う。	2	障がい福祉課
困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりのため、具体的には地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催したり、CSWの活動紹介や意見交換会を実施したり、日々顔の見える関係づくりに取り組んでいます。 市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者736名(男性337名、女性396名、不明3名)。相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	2	3	1	2	2	地域福祉総合相談員(CSW)を概ね各中学校区に配置し、福祉に関する総合相談を継続実施。市広報に特集記事の掲載、ケーブルテレビ等を活用した周知の強化を実施し、今年度の相談件数の実績は前年度を上回った。ひとつの相談機関だけでは対応することが困難な複合多問題を抱えた世帯への支援をどのように進めるのが課題である。	2	福祉総務課

事業番号	事業
73	高齢者、障がいのある人、子どもが安心して暮らせるよう、バリアフリーのまちづくりを推進します。 ◆市営住宅建替事業 ◆新規事業、改修時における公園施設(園路、トイレ等)のバリアフリー化 ◆交通安全施設整備事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
政策企画室にて令和2年3月末に策定予定である和泉市富秋中学校区等まちづくり構想のなかで建替計画について目標設定を行い、建替住棟については、バリアフリー化等に対応していく旨を記載。	3	3	2	2	2	今年度は、建替計画の年次計画等の基本的な部分の目標設定を行った。具体的な建替計画は令和2年度以降「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想」に伴うPFI可能性調査、基本設計等の中で詳細検討を行っていく予定。	2	建築住宅課
黒鳥山公園において、新設園路をバリアフリーの基準により施工した。	2	1	1	1	1	引き続きバリアフリーの視点で設計施工する	2	公園緑地課
誰もが安全に安心して通行できるよう、歩道のバリアフリー工事(3路線)を実施。2路線と1路線の一部が完了。	2	1	3	3	2	工事進捗が図られた。令和2年度に1路線の残りの区間を整備して事業の完了を目指す。	2	道路河川室

事業番号	事業
74	日本語学習が外国人にとって地域社会で生きていくための基盤となるよう、教室活動そのものが日常生活における対等な人間関係や地域でのネットワークの構築につながっていくよう、「日本語サロン」(和泉市国際交流協会)と連携します。 ◆日本語サロン

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと					
		(1)	(2)	(3)				
外国人住民と地域住民とのネットワークづくりを目的とし、ボランティアが外国人住民の日本語学習サポートを行う日本語サロンを実施し、外国人住民に周知する。広報紙、市HPだけでなく、公共施設でチラシの配付を行った。	2	3	3	2	2	できるだけたくさんの外国人が受講できるよう、引続き日本語ボランティアの人材を確保していく。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
75	内閣府「定住外国人施策ポータルサイト」等の情報提供を積極的に進めます。 ◆外国人情報コーナー(市ウェブページに掲載)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・外国人市民が和泉市で生活するうえで必要となる情報を得られる「和泉市版生活ガイド」や、「内閣府 定住外国人施策ポータルサイト」等サイトへのリンクを掲載した、「外国人情報コーナー」を市HP内に設置し、多言語での情報提供を行った。 ・外国人市民の日本語学習をサポートする日本語サロンにおいて、行政・生活情報について適宜提供を行った。		2	2	3	2	2	今後も引き続き積極的な情報提供を行う。			2	人権・男女参画室

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる 施策の方向 9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援

施策② ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進

事業番号	事業
76	市民や事業者に向けてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や働き方を見直す必要性等についての情報提供を行います。 ◆和泉市企業人権協議会等への情報提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆広報紙、ホームページ、モアイずみ通信での情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)					
和泉市企業人権協議会の会員事業所にワーク・ライフ・バランスについての情報提供や各種研修への参加を促すとともに、商工労働室の窓口にてリーフレットを置き、来庁者に対しても周知を図った。		2	3	2	1	1		長時間労働の上限規制等、ワーク・ライフ・バランスについて、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室

女性就業支援全国展開事業を活用し、商工会議所と連携して市内企業と市民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの理解を深め、誰もが安心して働ける職場づくりを目的とする研修会研修会を開催。 日時:10月30日(水) タイトル:ワーク・ライフ・バランスセミナー～働きたくなる企業をめざして～ 参加人数:32人/定員:70人	1	3	1	1	1	女性就業支援全国展開事業を活用し、ワーク・ライフ・バランスの意義や働き方を見直すことができた。引き続き、より多くの市民や事業者が参加できる研修会の実施に努める。	2	人権・男女参画室
市ホームページにてワーク・ライフ・バランスについて掲載を行い周知を図った。男女共同参画啓発冊子及び広報いずみ6月号にて、ワーク・ライフ・バランスについて掲載し、情報提供を行った。	1	2	1	1	1	引き続き、ワーク・ライフ・バランスの必要施策や働き方を見直す必要性について啓発を行う。	2	人権・男女参画室
市内事業者向けに和泉市男女共同参画推進講師派遣事業を実施し、事業について商工会議所等と連携して広報いずみやモアイずみ通信にて周知を行った。 女性就業支援全国展開事業を活用し、商工会議所と連携して市内企業と市民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの理解を深め、誰もが安心して働ける職場づくりを目的とする研修会研修会を開催。 日時:10月30日(水) タイトル:ワーク・ライフ・バランスセミナー～働きたくなる企業をめざして～ 参加人数:32人/定員:70人	1	2	1	1	1	和泉市男女共同参画推進講師派遣事業は引き続きより多くの事業者に対し周知していく。 また、女性就業支援全国展開事業を活用し、ワーク・ライフ・バランスの意義や働き方を見直すことができた。引き続き、より多くの事業者が参加できる研修会の実施に努める。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
77	男性向けに働き方見直しセミナーを実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆男性学講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと持ち取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
子育て応援講座の開催 ①「親子で挑戦！アートフラワーアレンジ♪」 開催日:5月12日(日) 参加人数:11組(26人)/定員:15組 IRISサイエンス・キャンパスの開催 「パパと一緒に科学実験！！IRISサイエンス・キャンパス お菓子の色の正体は？」 開催日:11月17日(日) 参加人数:15組(35人)/定員:15組	1	3	1	1	1	引き続き、父親が参加しやすいよう、土日に実施する等の配慮に努め、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努める。	2	人権・男女参画室
【男性学講座】初めてのメンズヨガ 開催日:令和元年10月12日(土)、26日(土)※12日は暴風警報発令のため中止 参加人数15人(男性15人女0人)/16人定員	1	3	1	1	1	引き続き、男性が仕事中心の生活から家庭・地域へ参画することの重要性を啓発していく。	2	人権・男女参画室

施策② 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備

事業番号	事業
78	次世代育成支援対策推進法に基づく、事業者としての行動計画策定を支援します。 ◆次世代育成支援対策推進法における事業所行動計画策定にかかる助言 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
平成27年3月に「和泉市子ども・子育て応援プラン」が策定され、相談があれば受け入れる体制はとっていたが、相談はなかった。	2	3	2	2	2	引き続き相談体制の充実を図る。	2	こども未来室
事業者が行動計画を策定するにあたり問い合わせや相談があった場合は、こども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制をとっていたが、相談件数が0件であった。	2	3	2	1	1	引き続き、こども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制を維持する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
79	「和泉市子ども・子育て応援プラン」に基づいて、妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた子育て支援の充実をめざします。 ◆一時預かり、障がい児保育、延長保育、休日保育、夜間保育、病後児保育事業 ◆親子(母子)健康手帳交付、乳幼児健康診査 ◆留守家庭児童会の充実

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
【令和元年度実施箇所数】 一時預かり17か所、障がい児保育27か所、延長保育29か所、休日保育1か所、夜間保育1か所、病児保育事業1か所、病後児保育事業1か所 合計77か所	2	2	3	1	1	障がい児保育について、受入可能施設でも職員の配置次第で受入不可とならざるをえない場合がある。民間施設においても受け入れ態勢を可能な限り整えてもらうよう継続して求めている。	2	こども未来室
親子(母子)健康手帳発行数1,295人。発行時、育児休業給付金や働きながら母親になる人向けのパンフレット配布。また、夫向けの父子健康手帳も配布し、男性にも妊娠出産をきっかけに育児仕事の両立について考えるきっかけを作っている。 4か月健康診査受診者数1,210人(受診率95.3%)、1歳6か月児健康診査受診者数1,154人(受診率95.5%)、3歳6か月児健康診査受診者数1,288人(受診率92.7%)。健診時、家庭の育児の協力状況などを確認し、必要時、保育園申請や育児支援サービスなどの情報提供を実施。	2	3	1	1	1	引き続き、妊娠中からの情報提供を実施する。国の動向で変更される事業等あれば、積極的に最新の情報を届けられるように取り組む。必要な対象には継続的に個別で相談対応や一緒に課題を考えて対応等を考えた。	2	健康づくり推進室
保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対して、適切な居場所を提供するため、市内19校に留守家庭児童会(仲よしクラブ)を設置し、保育環境の充実を図る。 【令和元年5月1日現在の在籍児童数】 1年生:674人、2年生:648人、3年生:491人、4年生:219人、5年生:97人、6年生:52人 計2,181人	2	3	3	1	1	現在、待機児童は発生していない。今後も待機児童ゼロを継続するため、教室の確保に努める。	2	生涯学習課

事業番号	事業
80	事業者や男性労働者に対して、男性の育児・介護休業の取得促進に向け情報提供及び支援を行います。 ◆男性の育児・介護休業の取得促進に向けた情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)			
各種リーフレットを商工労働室前に配置することで周知を図った。	2	3	2	1	1	男性の育児・介護休業取得について理解を深めるため、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
広報いずみ6月号にて、ワーク・ライフ・バランスについて掲載し、情報提供を行った。 市ホームページにてワーク・ライフ・バランスのページを掲載した。 「カエル！ ジャパン」、「ポジティブ・アクション」「イクメンプロジェクト」「女性の活躍・両立支援」についても掲載しており、ワーク・ライフ・バランス実現のための情報提供を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、労働に関する法律や制度等の情報周知を行った。	1	3	2	1	1	今後も情報を収集し、情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
81	男性が父親としての自覚を持ち、積極的に子育てに関われるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆半日保育参加の呼びかけ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった			
子育て応援講座の開催 ①「親子で挑戦！アートフラワーアレンジ♪」 開催日：5月12日(日) 参加人数：11組(26人)/定員：15組 IRISサイエンス・キャンパスの開催 「パパと一緒に科学実験！！IRISサイエンス・キャンパス お菓子の色の正体は？」 開催日：11月17日(日) 参加人数：15組(35人)/定員：15組 (再掲Ⅲ-9-24-77)	1	3	1	1	1	引き続き、父親が積極的に子育てに参画できるよう講座を実施する。	2	人権・男女参画室
半日保育参加への呼びかけを実施した。半日保育参加では、半日を保育士となって過ごしてもらうので、保育参加をとおして子育ての楽しさを体験してもらうことができた。 また、送迎時は、父親へも積極的に子どもの様子や子育てについての話をし、子育てを保育園と共有できるようにしている。	2	3	1	1	1	引き続き参加の呼びかけをする。また、参加しやすい雰囲気づくりをする。	2	こども未来室

事業 番号	事業
82	男性が、主体的に家族介護の担い手となるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆地域出張型在宅医療介護セミナー（H27年度まで 入退院支援家族教室）

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方によって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1. 進んだ 2. やや進ん だ 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
計6回（5/16、10/26、11/14、11/17、2/6、2/12）開催。 内テーマは「介護保険について」4回、「かかりつけ医師について」1回、「病院 のしくみについて」1回。 参加者は令和元年度では150名。（男性42人、女性108人）	2	3	1	1	1	今後もより多くの住民 に聞いてもらい、「ご 近所さん」同士で学 ぶことによって、男女 共同参画の視点を持 ちながら地域の風土 を形成していく必要が ある。	2	高齢介護室

事業 番号	事業
83	特定事業主行動計画に基づき推進します。 ◆職員が子育てや介護しやすい勤務環境を整備する

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方によって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】 1. 進んだ 2. やや進ん だ 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
男性職員も育児休業が取得可能であることやワークライフバランスの確保の 必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行った。 男性育児休業の取得者：1名 参考：令和元年度新規取得対象者 35名	2	3	1	1	1	男性の育児休業取得 が1名あり、育児短時 間および部分休業の 取得者も1名あった。	2	人事課

施策の方向10 自立した暮らしのための支援

施策②⑥ ひとり親家庭への支援

事業番号	事業
84	ひとり親家庭が抱える、様々な悩みや問題を解消するための相談体制を充実します。 ◆母子・父子自立支援員による相談業務

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
ひとり親家庭や離婚を考えている方が抱える様々な悩みや問題を解消するために電話や来所による相談支援を行った。 離婚前父相談:3件(経済的支援2件、児童1件) 離婚前母相談:76件(家庭内もめ事43件、就労3件、経済的支援29件、児童1件) 離婚後父相談:5件(家庭内もめ事1件、児童1件、経済的支援3件) 離婚後母相談:216件(経済的支援125件、家庭内もめ事8件、就労等79件、児童3件)	2	3	1	1	1	(成果)相談者に寄り添いながら相談支援を行うことができた。 また、必要な場合は関係機関と連携を取り支援を行った。 (今後の対応)今後も引き続き関係機関と連携を取りながら支援を行う。	2	こども未来室

事業番号	事業
85	ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業)の周知を図ります。 ◆ひとり親家庭自立支援給付金事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立を推進するために自立支援教育訓練給付金制度の周知を図った。 高等職業訓練促進給付金の支給:18名(全て母) 教育訓練給付金の支給:5名(全て母)	2	3	1	1	1	(成果)相談業務において自立支援給付金制度の周知を図れた。 (今後の対応)今後も引き続き自立支援給付金制度の周知をしながら支援を行う。	2	こども未来室

事業番号	事業
86	ハローワーク等と連携し、就労支援を行います。 ◆ひとり親家庭等就労支援事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
母子・父子自立支援員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行った。プログラム策定事業申込:25件 ケース会議参加 22件 策定事業による就職 11件	2	3	1	1	1	(成果)関係機関と連携を取りながら支援を行った。 (今後の対応)引き続き、関係機関と連携を図りながら、支援を行う。	2	こども未来室

事業番号	事業									
87	ひとり親家庭に支給される児童扶養手当や、ひとり親家庭に支援される医療費助成の周知を図ります。 ◆児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭医療助成事業									
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。										
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課	
児童扶養手当支給者数:延べ 27,497人 ひとり親家庭医療費助成件数:延べ52,659件		2	3	2	2	2	今後も引き続き周知を行っていく。	2	こども未来室	

施策⑦ 困難を抱える人々が安心して生活できるための支援

事業番号	事業
88	高齢者や障がいのある人に対する、経済的自立に向けた就労の機会の拡大と雇用の安定について事業所に働きかけます。 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施 ◆福祉的就労に向けた訓練等の機会の提供
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。	
【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。	

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。令和元年度シルバー人材センターの会員数 1,768人	1	2	1	1	1	引き続き、紹介の機会を増やす必要がある	2	高齢介護室
就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所を利用するために、支給決定(受給者証発行)を行った。また、相談内容に応じて、公共職業安定所(ハローワーク)や障害者就業・生活支援センターを紹介した。令和元年度末時点で、就労移行支援37名、就労継続支援A型71名、就労継続支援B型456名が利用中である。	2	3	3	1	1	引き続き、障がい者が就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所の利用を希望する場合は、支給決定(受給者証発行)を行う。	2	障がい福祉課

事業番号		事業							
89	高齢者が要介護状態とならないよう、また、介護予防を図るために、自立した生活を確保するための生活支援サービスの充実を図ります。 ◆介護予防普及啓発事業								
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。				
実施状況（事業報告）		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
「おためいきいきいずみ体操」を実施し、46名が参加した。 地域出張型の教室を5箇所で開催し、その後いきいきいずみ体操の自主グループとなった団体もあった。 活動団体75団体については、専門職による指導や体側測定、交流会を行うなど支援を実施し、継続して活動が行えている。		1	2	1	3	1	地域でのいきいきいずみ体操の自主グループが増える中(今年度も新規で12G立ち上がった)、今後も、教室や地域で介護予防の取り組みを男女で共同で取り組んでいけるように継続的に支援を行っていく。	2	高齢介護室

事業番号	事業
90	支援を必要としている人々が適切に福祉サービス等を利用し、地域での生活が継続できるよう、情報提供や相談等の支援を進めます。 ◆和泉市高齢者福祉サービス ◆成年後見審判市長申立事業 ◆基幹相談支援センター事業の実施 ◆成年後見審判申立事業の実施 ◆日常生活自立支援事業の情報提供 ◆地域福祉総合相談員配置促進事業 ◆生活困窮者自立支援

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
紙おむつの給付・緊急通報装置の貸与・訪問理美容サービス・介護予防住まい改修・認知症高齢者安全確保事業・認知症高齢者家族やすらぎ支援事業を実施している。在宅を望む高齢者が安心して暮らせるように地域包括支援センターやその他の関係機関と連携し、情報提供している。高齢者一人ひとりにあった適切なサービスや介護者の負担を軽減するために紙おむつや福祉用具の給付や緊急通報装置の貸与を行っている。	2	3	2	2	2			広報やホームページ、出前講座やパンフレットなどを通じ高齢者福祉サービスの情報提供や相談等を行い、地域での生活が継続できるように支援する。	2	高齢介護室
65歳以上の一人暮らし又は高齢者世帯で調理が困難な方に対して月～金の夕食を週5回まで1食450円で配達し、食の提供をしている。対象者が疾患に合った食事内容を選択し、栄養バランスのとれた配食を行っている。配達時安否確認も兼ねており、独居や家族の方が安心して在宅で生活できるように努めている。(令和元年度配食人数232人)	2	3	2	2	2			支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができるように継続してサービスを実施する。	2	高齢介護室
利用者が地域で自立した生活を継続していくために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の財産管理、法律行為の援助が必要な場合、市長が本人、配偶者、四親等内の親族に代わって家庭裁判所に成年後見審判の申立を行う。 令和元年度市長申立件数:1件	2	3	3	1	1			成年後見制度の周知・啓発を地域包括支援センターと協働して実施。自身の意思を反映できない後見相当ではなく、保佐・補助相当から利用できるように、より周知啓発が必要。	2	高齢介護室
基幹相談支援センター事業及び相談支援事業等の実施により、障がい者等からの様々な相談に対応した。障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター3ヶ所で相談を受けた人数は、合計468人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,972件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が634件(延べ件数)等である。	2	3	3	1	1			引き続き、特定相談支援事業所等の相談支援専門員の質の向上に取組み、障がい者が自立した生活を送れるよう、また地域で長く生活ができるよう、ニーズに応じた適切な支援を行う。	2	障がい福祉課
令和元年度は申し立て実績はありません。	2	3	3	1	1			障がい者基幹相談支援センターにおいて、個別ケース対応の中で、特定相談支援事業所の相談支援専門員に対して、成年後見審判申立事業の活用について助言を行った。今後も引き続き、成年後見審判申立に関する支援を行う。	2	障がい福祉課

日常生活自立支援事業について、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターから情報提供し、支援ができるように、社会福祉協議会へつなぎを行った。	2	3	3	1	1	引き続き、障がい者基幹相談支援センター、障がい者相談支援センターから情報提供し、支援ができるように、社会福祉協議会へつなぎを行う。	2	障がい福祉課
困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりのため、具体的には地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催したり、CSWの活動紹介や意見交換会を実施したり、日々顔の見える関係づくりに取り組んでいます。 市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者736名(男性337名、女性396名、不明3名)。相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	2	3	1	2	2	地域福祉総合相談員(CSW)を概ね各中学校区に配置し、福祉に関する総合相談を継続実施。市広報に特集記事の掲載、ケーブルテレビ等を活用した周知の強化を実施し、今年度の相談件数の実績は前年度を上回った。ひとつの相談機関だけでは対応することが困難な複合多問題を抱えた世帯への支援をどのように進めるのが課題である。	2	福祉総務課
生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため自立支援計画を策定し本人の状態に応じた包括的なかつ継続的な相談支援を実施した。 相談件数433件(男224件、女195件、不明14件) 自立支援計画策定件数89件 達成件数(就労者数)31件 (令和2年3月末時点)	2	3	1	1	1	自立支援計画策定件数は昨年度を上回ることができた。今後も制度周知の強化及び各課、関係機関と連携を強化していく。	2	福祉総務課

施策の方向11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援

施策⑳ 生涯を通じた心身の健康保持・増進

事業番号	事業
91	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づいて健康・保健施策が進められるよう、啓発や情報提供を行います。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない 評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。 受講者数 延273人、夫受講者数 延60人	2	3	1	1	1	安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。来年度は、参加しやすいように日曜日開催の回数を増やす。	3	健康づくり推進室
①タイトル:「産後ママのためのココロとカラダのセルフケア」 開催日:11月12日 参加人数:15人 定員:15人 【女性の健康週間】 ②タイトル:「産後ママのためのココロとカラダのセルフケア」 開催日:3月26日 定員:15人 ③タイトル:「脳を鍛える動きのレッスン～ゆっくり動いてからだを緩める感覚をつかもう～」 開催日:3月23日 定員:16人 ※②③については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。令和元年度の実績値は①の数値	1	2	1	1	1	「産後ママのためのココロとカラダのセルフケア」については、定員の2倍ほどの申込みがあり、産後の健康維持に強い関心を持つ市民が多いことが分かり、よかった。引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
92	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供します。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆健康教育におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方の普及

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない ④評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。 受講者数 延273人、夫受講者数 延60人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	2	3	1	1	1	3	健康づくり推進室
①タイトル:「産後ママのためのココロとカラダのセルフケア」 開催日:11月12日 参加人数:15人 定員:15人 【女性の健康週間】 ②タイトル:「産後ママのためのココロとカラダのセルフケア」 開催日:3月26日 定員:15人 ③タイトル:「脳を鍛える動きのレッスン～ゆっくり動いてからだを緩める感覚をつかもう～」 開催日:3月23日 定員:16人 ※②③については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。令和元年度の実績値は①の数値 (再掲Ⅲ-11-28-91)	1	2	1	1	1	2	人権・男女参画室
学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じ、保健や総合的な学習の時間等でリプロダクティブヘルス／ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供するよう指示した。	2	3	1	2	2	2	教育委員会指導室

事業番号	事業
93	年代に応じた健康管理を支援するため、健康相談や健康診査・検診等の充実を図ります。 ◆各種検診(健診)、健康教育・相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない ④評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持			
健康管理に向けた各種検診(健診)の実施及び受診勧奨、生活習慣病予防のための健康教育・相談事業の実施した。 各種健康診査及びがん検診、胃がんリスク検査、歯周疾患検診等の実施。 また、受診率向上を目指し無料クーポン券や受診券の発行、40歳到達者及び受診に繋がりのやすい対象者に個別勧奨通知を実施した。 健康教育・相談事業については、市民が生活の中で健康づくりを実践できるよう、生活習慣病予防のための教育や保健指導を実施した。 乳がん検診 対象者数 19,067人 受診者数 5,906人 子宮がん検診 対象者数 22,640人 受診者数 7,366人	2	2	1	1	1	2	健康づくり推進室

事業 番号	事業
94	学校と連携し、健康をおびやかす問題についての対策を推進します。 ◆「薬物乱用防止教室」の実施 ◆各校で学校保健委員会の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
・薬剤師会や警察とも連携した薬物乱用教室を実施し、各学校において、発達段階に応じた、薬物の正しい知識についての学習機会を提供できた。薬剤師会による実施は、南松尾はつが野学園5、6年生49人6月12日(水)、鶴山台南小学校6年生57人6月26日(水)、伯太小学校5、6年生176人10月2日(水)、南横山小学校5、6年生27人10月9日(水)、光明台北小学校6年生118人10月10日(木)、光明台南小学校5、6年生190人10月16日(水)、青葉はつが野小学校5年生254人10月16日(水)、池上小学校5年生38人10月30日(水)、国府小学校6年生160人11月13日(水)、南池田小学校5、6年生167人11月27日(水)、緑ヶ丘小学校5、6年生227人12月18日(水)、芦部小学校5年生102人1月15日(水)、北松尾小学校6年生133人1月29日(水) 合計13校(回)1,649人 ・残りの17校については、警察職員、指導員、学校医、保護司、養護教諭等による「薬物乱用防止教室」を開催した。	1	3	3	2	2	薬剤師会や警察とも連携した薬物乱用教室を実施し、発達段階に応じた薬物の正しい知識を指導することができた。	2	教育委員会指導室
各校それぞれの実態から見た課題に応じた学校保健委員会を開催することができた。中学校区全体で実施し、情報を共有する場を設けた中学校区や、中心となる課題「性教育」を深く取り上げた学校など、それぞれの実態を見ながら各学校で充実した学校保健委員会を実施できた。	1	3	2	2	2	各校が子どもたちの実態から見た課題をふまえ、その課題解決に向けた学校保健委員会を開催することができた。来年度も、それぞれの実態を見ながら充実した学校保健委員会を実施する。	2	教育委員会指導室

事業 番号	事業
95	性差に留意し、自殺予防のための相談支援や心の健康保持増進に努めます。 ◆自殺予防対策事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
・自殺対策行動計画の進捗管理や庁内ネットワークづくりを目的に和泉市自殺対策連絡会議を3回実施。 ・9月、3月の自殺予防週間・強化月間で、ポスター掲示、広報、相談窓口記載のティッシュを庁内外関係課窓口配布にて啓発。 ・「こころの体温計」については市のラインや子育てアプリを活用し、周知を強化。 ・消防職員を含む職員向けゲートキーパー研修を4回実施し120名が参加。 ・市民向けゲートキーパー研修を3回実施し85名が参加。 ・こころのリフレッシュ相談会を毎月実施し27名の相談を受ける。	2	3	1	1	1	職員向けゲートキーパー研修は回数増加に伴い参加者が増加。市民向けゲートキーパー研修は年齢性別問わず実施できた。庁内連絡会議を通じて、普及啓発や人材育成のテーマやターゲットについて検討し、より効果的に計画を推進していく。	2	健康づくり推進室

事業番号	事業
96	妊娠、出産期における健康保持のための支援をします。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆妊婦健康診査 ◆母子健康相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。 受講者数 延273人、夫受講者数 延60人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	2	3	1	1	1			安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。来年度は、参加しやすいよう日曜日開催の回数を増やす。	3	健康づくり推進室
健全な妊娠・出産を迎える上で、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊娠届時に「妊婦健康診査受診券」を発行し、1人当たり合計120,000円の公費負担を行った。延15,186件 また、多胎妊婦に関しては追加で受診券(5,500×5枚)を発行した。	1	3	1	1	1			健全な妊娠出産のため、引き続き妊婦健康診査の公費負担を実施する。	2	健康づくり推進室
安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、面接・電話・訪問による相談・支援を実施。特に、妊娠期の早い段階から母子の健康や子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供や助言を行った。また産後についても希望者には助産師の訪問を行った。 母子保健指導 15,176人	2	3	1	1	1			安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援が提供できるよう、今後も支援を継続する。	2	健康づくり推進室

事業番号	事業
97	HIV／エイズや性感染症については、大阪府と連携し偏見を取り除き、正しい知識の普及や感染予防に努めます。 ◆HIV／エイズ等のポスター掲示等による普及活動

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
HIV予防週間は、ポスターを掲示し普及啓発を行った。	2	3	1	1	1			引き続き大阪府と連携し正しい知識の普及を行う。	2	健康づくり推進室

事業番号	事業
98	個人のプライバシーに配慮した女性のための健康に関する相談窓口を充実します。 ◆健康相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
骨密度検診、特定健診結果説明会で面接を実施。 機能訓練教室やヘルシー運動教室にて、面接を実施。 電話・来所・訪問での相談に対し、健康相談を実施。 健康相談 延 923人	2	3	1	1	1	健康づくり推進室

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる 施策の方向 12 あらゆる暴力の根絶

施策⑳ 暴力を容認しない社会風土の醸成

事業番号	事業
99	「女性に対する暴力をなくす運動」を展開し、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発や講演会等を行います。 ◆キャンペーンの実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
・和泉シティプラザにて、啓発期間に「パープル・ライトアップ」を実施し、機運の醸成に努めた。 ・女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 ・モアいずみ通信11月号にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 ・男女共同参画センター登録団体にパープルリボン作成の協力を依頼し、こども未来室と連携し、パープルオレンジ(児童虐待防止月間)Wリボンを市職員に配布、また、市民に対し市役所玄関に設置を行った。モアいずみ窓口、生涯学習センター窓口等にて、パープルリボンを配布し、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発を行った。 ・図書コーナーにDVに関する書籍を集め、特設コーナーを設置した。	1	3	1	1	1	人権・男女参画室
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: デートDV防止講演会～お互いを尊重した関係づくりのために～ 開催日: 令和元年11月20日(水) 参加人数: 124人/定員: 200人	1	3	1	1	1	人権・男女参画室

事業番号	事業
100	「男女共同参画週間」・「人権週間」等を通じて、広く意識啓発のための活動を行います。 ◆男女共同参画週間事業の実施 ◆「いのち・愛・人権」市民の集い、人権啓発講座、他

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
①広く市民に男女共同参画に対する理解を深め、その取り組みの輪を広げるために男女共同参画週間啓発事業として、ミニフォーラムを実施。 (令和元年度男女共同参画週間事業) 開催日: 6月22日(土) 14:00～16:15 内容: 映画「ドリーム」上映 参加人数: 351人/600人定員 ②令和元年6月号広報いずみ及びモアいずみ通信5・6月号に男女共同参画週間事業を掲載。また、啓発用マグネットシートを公用車に貼り付け、和泉シティプラザ敷地内にはのぼりを設置し啓発を行った。	1	3	1	1	1	市民のニーズを踏まえ、引き続き実施していく。 今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、参加を呼び掛け目標値をめざす。 広報いずみに掲載することで、男女共同参画週間事業については、広く市民に周知できたと考える。	2	人権・男女参画室
・「いのち・愛・人権」市民の集い」参加者に広報物を配布し、女性の人権などの人権課題について啓発を行った。 ・どんな状況でも夢や目標をあきらめず生きていくためのヒントや子育ての話を書くことで、女性や中高年のエンパワメントにつながった。 平成30年12月1日(土) 午後2時～午後3時40分 コミュニティセンター3階 講師 辻井いつこ「明るく、楽しく、あきらめない」 参加者210人	2	2	3	1	1	今後も引続き女性の人権に関する視点を取り入れて啓発事業に取り組みます	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
101	子ども・若者・成人と、年齢に応じて暴力によらない解決方法を身につけるための学習機会を提供します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆暴力によらない解決ブックレットの活用 ◆スクールカウンセラーの効果的な活用による生徒指導 ◆保育所や幼稚園での集会や日常の保育、教育の場で保育(教育)計画に基づいた指導

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: デートDV防止講演会～お互いを尊重した関係づくりのために～ 開催日: 令和元年11月20日(水) 参加人数: 124人/定員: 200人 (再掲Ⅳ-12-29-99)	1	3	1	1	1	デートDV対象の年代に対し講演を行い、デートDVの防止について意識向上を行った。 今後においても、若い世代に対し啓発を行っていく。	2	人権・男女参画室

暴力によらない解決ブックレットを活用し、問題解決力育成ワークにある、子どもと良い関係を作るワークや心を落ち着かせるワーク、表現力を育てるワークを実施するように指示した。これらを取り組むことで、子ども自身が自己の思いや考えを表現する喜びや嬉しさを知り、さらにその気持ちを相手に伝えることができるまでの行動過程を体感することで子ども自身がエンパワメントされ自己肯定感の確立につながった。	1	2	1	1	1	今後もアンガーマネジメントなどの暴力によらない解決方法の学習の機会を充実させる。	2	教育委員会指導室
スクールカウンセラーの効果的な活用を指示し取り組んだ。スクールカウンセラーは、17小学校に配置し、中学校は全9校に、義務教育学校1校に配置している。 小学校での相談件数は1,668件、相談人数2,213人。中学校での相談人数は、3,154人である。また、スクールカウンセラーが講師となり、子ども理解や暴力によらない解決方法の育成についての教職員研修を、のべ17回(中学校15回、小学校2回)行った。	1	2	3	1	1	スクールカウンセラー連絡会の実施を継続し、さらなる相談体制の充実を図った。	2	教育委員会指導室
・日々の保育の中で、自分の思いを出せる環境を整え、子どもたちのけんかの場面などをとらえ、人を傷つけることは良くないことであること、どのようにすれば良かったかということ、相手の気持ちにも子ども自身が気づいていけるようにした。 ・各年齢の中で、一人一人の子どもを大切に保育を年間を通して実施した。	1	3	1	1	1	引き続き場面場面で知らしていく。	2	こども未来室

施策⑩ 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知

事業番号	事業
102	様々な媒体を活用して、それぞれの暴力に適応した相談窓口について広く周知します。 ◆暴力等DVの相談業務 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
暴力等DVについては、母子・父子自立支援員による相談を行い、関係機関と連携を取っている。 DV相談: 21件	2	3	1	1	1			(成果)被害者に寄り添いながら関係機関と連携し支援を行った。(今後の対応)引き続き、関係機関と連携を図りながら、支援を行う。	2	こども未来室
地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 高齢者虐待防止に関する研修回数 5件(令和元年度)。	2	3	1	1	1			虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って虐待防止に向けて周知啓発が必要。	2	高齢介護室
・広報いずみ、モアいずみ通信に相談窓口を掲載する。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。	1	3	1	1	2			場所によっては、補充頻度が多いところがあるので、補充管理をしっかり行う。引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
103	正犯罪被害相談、性暴力救援センター・大阪（SACHICO）等の性犯罪専門の相談窓口を周知します。 ◆相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。（和泉市立病院、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター、コミュニティセンター、シティプラザ等） ・連携する関係各課（室）の相談窓口にリーフレットを設置、補充管理。	1	3	1	1	1	引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
104	性犯罪等女性や子どもへの暴力防止のため、関係団体と連携を図り犯罪防止の啓発活動、地域の安全情報の提供を推進します。 ◆地域防犯対策事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
・ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン、女性を対象とした防犯ブザーの配布活動を実施した。 ・青色防犯パトロールカーを使用して、通勤・通学路の見守り活動を実施した。 ・和泉総合防犯センター（ICPC）と連携して、不審者情報等のメール発言を実施した。	2	2	1	1	1	防犯ボランティア団体と連携して、積極的に犯罪被害防止活動に取り組んだ結果、犯罪発生件数を減少させることができた。今後も、犯罪発生実態に即した犯罪被害の防止活動を推進する。	2	公民協働推進室

事業番号	事業
105	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪やストーカー行為等、女性に対する暴力防止のため、学校を含む関係機関・関係団体との連携を基に、女性の人権侵害に関する市民の意識の向上と安全・安心のまちづくりの重要性を啓発します。 ◆地域防犯対策事業 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携 ◆特別相談の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
・ひったくり防止カバー取り付けキャンペーンの実施 13回 ・痴漢等の性犯罪被害の防止を目的とした防犯ブザーの無料配布を実施 2回 ・地域安全キャンペーン等 8回	2	2	1	1	1	性犯罪の発生件数は減少したことから、引き続き、女性・子どもに絞った啓発活動に取り組む。また、防犯灯・防犯カメラの維持管理を行い、ハード面からも犯罪の抑止に努めていく。	2	公民協働推進室

具体的な被害状況を例示して、すぐに実践できる防犯対策を紹介するとともに、和泉警察署の協力を得て、護身術教室を開催した。	2	3	1	1	1	参加者の年代や職業等によって内容を変えていき、より効果的な防犯教室の開催に努める。	2	公民協働推進室
和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議への参加を行い、関係各課や関係機関と連携するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用及びこども未来室や子ども家庭センターと連携し重要性を啓発した。スクールカウンセラーは、17小学校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、1,668件、相談人数2,213人。中学校での相談人数は、3,154人である。スクールソーシャルワーカーは、3名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	1	2	3	1	1	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談体制を更に充実し、関係機関との連携を図る。	1	教育委員会指導室
女性に対する暴力をなくす運動啓発事業【特別相談】 (電話相談) 実施日:①10月30日(水)午前・午後 6件 ②10月31日(木)夜間 2件 (法律相談) 実施日:11月9日(土)午後1時～4時 1件 (カウンセリング) 実施日:11月9日(土) 3件	1	3	1	1	1	女性に対する暴力をなくす運動を啓発するとともに、引き続き、特別相談の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑪ セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進

事業番号	事業
106	セクシュアル・ハラスメント等の相談窓口の周知を図ります。 ◆労働相談の周知 ◆女性の相談窓口の周知 ◆セクハラ防止対策相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
広報いずみやホームページで本事業の周知を図るとともに、就労支援相談等で来庁した市民でセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱える者に対し、本業務への誘導を行った。 令和元年度 労働相談者数実績 毎月第1日曜日 男性1人 女性9人 毎月第2金曜日 男性1人 女性6人 合計17人	2	3	1	1	1	今後も様々な媒体を活用し本業務とともに、大阪府や労働基準監督署でも相談窓口を設置していることを周知する。	2	商工労働室
・職場におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載した「女性の相談窓口」リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理 ・令和2年2月号広報にて全戸配布(73,000部)を行った男女共同参画啓発冊子にセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載し、相談窓口の周知を図った。	1	3	1	1	1	引き続き、相談窓口の周知に努める。	2	人権・男女参画室
大阪労働局の「セクシュアルハラスメントによる労災請求の相談窓口」の周知など、職員への情報提供を行うとともに、常に参照できるように市グループウェアに掲載した。	2	2	1	1	1	相談窓口の周知、市グループウェアに掲載を行ったことで、職員に対して十分な周知を図ることができた。	2	人事課

事業 番号	事業
107	事業主に対して、セクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置を周知します。 ◆和泉市企業人権協議会等を通じた周知 ◆セクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進ん だ 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
和泉市企業人権協議会の会員事業所にセクシュアル・ハラスメント等についての情報提供や各種研修への参加を促した。	2	3	2	1	1	事業主がセクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
セクシュアル・ハラスメント等を防止するため、商工労働室と双方から情報を発信した。 厚生労働省等から送付されるハラスメントに関する冊子等については、人権・男女参画室やモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)のラックに配置し、情報提供を行った。 また、昨年に引き続き、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、セクシュアルハラスメント等についての情報周知を行った。	1	3	1	1	1	引き続き、セクシュアル・ハラスメント等防止や、相談窓口についての情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

事業 番号	事業
108	市職員や教員に対し、事案をなくすために研修等を実施します。また、市役所や学校におけるセクシュアル・ハラスメント等に対応するための体制を充実します。 ◆各校にセクシャル・ハラスメント対策担当者を設置 ◆セクハラ防止研修 ◆研修等への参加促進 ◆職員研修への参加促進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業 実施度	【施策の 進捗度】			事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】	担当課
		1. 進んだ 2. やや進ん だ 3. 現状維持 4. 進まなかつ た	(1)	(2)	(3)			
各校において、複数名の担当者を置き、1名は必ず女性が担当している。 令和元年度の相談件数は、0件だった。	1	1	1	1	1	今後も複数の担当者を置き、1名は女性が担当するように指示する。指導室にも可能な限り女性担当者を置く。	2	教育委員会 指導室
セクハラへの正確な理解やモラル観を持ち、快適な職場環境の形成を図るため、啓発を実施した。 実施日: 令和元年11月12日 研修内容: ハラスメント防止研修 参加人数: 56名 44名 【内訳】男性: 31名 女性: 13名	2	3	1	1	1	課内マネジメントを行う係長級以上の職員を対象に1~2名の参加者を募集し、実施したことにより、施策の推進に寄与した。	2	人事課

あらゆるハラスメントに関して、全職員を対象に記名アンケートを実施したところ今年度についてはハラスメントの確認はなく人事評価の個人面談時においてもハラスメント等の確認を徹底しました。またハラスメント窓口の開設にあたり、担当課長等が対応及び知識の向上を図るため専門講習会等に参加しました。	2	2	2	2	2	あらゆるハラスメント防止を図るため、今後アンケートを無記名とし継続するとともに、機会をとらえて講習会等を実施します。	2	消防総務課
ハラスメント研修・LGBT研修等へ参加し、研修内容等について後日所属職員へ周知を行った。	2	2	3	1	1	セクシャルハラスメント等の正しい知識、特に昨今においてLGBTIに関することが学べ、知識を深めることができ、庁舎管理等についても配慮を行っていききたい。	2	上下水道部 経営総務課

施策の方向 13 安心して相談できる相談体制の充実

施策⑫ 相談・支援体制の充実

事業番号	事業
109	庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介できるようにします。 ◆関係担当課や関係機関との情報共有 ◆生活保護等事業 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施 ◆市民相談事業 ◆いずみ子育てなんでも相談センター ◆教育センター相談事業 ◆青少年相談業務 ◆和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ◆人権相談 ◆総合生活相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)			
関係課及び関係機関がどのような業務を担当しているかを再確認することで、来庁者等に的確な担当窓口を紹介することが出来た。	2	3	2	2	関係課や関係機関と更なる情報共有を行い、より迅速かつ丁寧な対応をしていく。	2	商工労働室
庁内の関係担当課及び庁外の関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介することができた。生活保護等の相談については男女共同参画の視点や生活困窮者の人権を尊重し社会保障制度の充実につながる相談を行うことができた。 生活福祉課での面接相談件数は最近では、平成29年度が878件、平成30年度が931件、令和元年度が917件となっている。	1	1	1	1	福祉総務課をはじめとする庁内の関係担当課及び庁外の関係機関との連携が重要となる。	2	生活福祉課
令和元年8月14日 高齢者虐待防止実務者会議開催 内容：平成30年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関：和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、地域包括支援センター	2	3	1	1	虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って虐待防止に向けて連携促進が必要。	2	高齢介護室
障がい者地域自立支援協議会や各種部会(相談支援部会、就労支援部会、地域移行部会、地域生活支援拠点部会)を推進し、ネットワーク強化や質の向上に取り組んだ。	2	3	3	1	今年度は、相談支援部会(相談支援専門員)と就労支援部会(就労支援員)との連携会議を行い、課題を抽出・整理することで、関係機関が連携できるように基盤づくりを行った。引き続き、関係機関が連携できるように、取組みを進める	2	障がい福祉課

生活に様々な問題を抱える市民の相談を受けて本人の状態に応じた支援を実施した。 生活困窮以外相談件数451件(内男189件、女218件、不明44件)市民からの相談を受け、相談内容に応じ必要となる部署(制度)につなげるよう助言や紹介等を行った。 生活困窮者においては、経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため、住宅確保給付金事業で1件、一時生活支援事業で11件、就労準備事業で5件、就労訓練事業で1件、自立相談支援事業による就労支援を31名に実施し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。(令和2年3月末時点)	2	3	3	1	1	生活困窮以外の相談件数について、平成30年度が災害相談が非常に多いものだったため、今年の件数は下回るものだが、引き続き情報収集及び他課との連携を強化する。	2	福祉総務課
子ども家庭相談室に家庭児童相談員(5人:男1人、女4人)を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介した。相談件数799件	2	2	1	1	1	非常勤専門職員を増員し、丁寧な相談対応ができた。引き続き、相談対応を実施する。	2	こども未来室
・各学校園に市及び府などの相談窓口について情報提供し、保護者や児童生徒への周知を依頼した。 ・長期休業の前に休み中の過ごし方についてのプリント(相談窓口の一覧を掲載)を配付した。 ・大阪府教育委員会や教育センターの相談窓口(すこやかホットライン・チャイルドライン等)を紹介するポスターやプリントを配付した。	2	3	3	2	2	引き続き、相談窓口の周知に努めるとともに、男女双方にとって相談しやすい丁寧な対応を心がける。	2	教育委員会指導室
青少年の健全な育成と自立支援につなげる相談、また、ノートやひきこもりなど、青少年問題に関する様々な相談に対し、その内容に沿った専門的な機関を紹介する。 相談方法：直接または電話による 対応時間：月～土曜日 午前9時～午後5時15分 ※日曜、祝日及び年末年始を除く	2	3	1	1	1	専門職員の配置がないため、当センターから専門機関を紹介することとなります。今後も「広報いずみ」の相談案内欄に掲載し、青少年の多方面に渡る問題解決を行う専門機関を紹介していきます。	2	青少年センター
「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 令和元年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 令和2年2月17日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組について	1	1	1	1	1	引き続き、関係担当課及び関係機関との連携を強化し、DV防止基本計画に基づき、DV被害者支援を行う。	2	人権・男女参画室
人権に関するさまざまな相談を受ける中で、相談内容を正確に把握し、関係各課・関係機関と連携し、課題解決に向けて対応を行った。	1	3	3	2	1	今後も相談事業の周知に努める	2	人権・男女参画室
人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。 相談件数44件 延べ件数87件	1	3	1	1	1	今後も市広報誌やホームページ、プラザだより、プラザニュース等様々な方法で市民に相談窓口の周知を図り実施していく。	2	人権・男女参画室

事業番号	事業
110	在住外国人のための、仕事や生活等に関する相談窓口の整備や外国語による支援体制を充実します。 ◆外国人への相談事業 ◆総合生活相談事業 ◆女性問題総合相談事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
多言語対応の「外国人のための1日相談サービス」を実施 6月2日(日)利用者 8人	1	3	3	1	1	今後は、相談内容に応じて、その都度所管部署を定め、それぞれの業務に即した相談窓口の整備や支援に取り組む。	5	人権・男女参画室
人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。 相談件数44件 延べ件数87件(再掲Ⅳ-13-32-109)	1	3	1	1	1	今後も市広報誌やホームページ、プラザだより、プラザニュース等様々な方法で市民に相談窓口の周知を図り実施していく。	2	人権・男女参画室
DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。	1	2	2	1	2	電話相談での情報提供及び、庁内の支援体制の強化を図る等、途切れない支援ができるよう努める。 次年度は市ホームページに窓口情報について掲載を検討する。	2	人権・男女参画室

施策⑬ 相談員の研修の充実

事業番号	事業
111	相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。 ◆保護者支援のための研修の充実 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
保護者支援や人権についての学ぶことができる研修を実施できた。 ・自尊心を育む保育 ・より良い職場づくり ・人権を大切にしたい保育	1	3	1	1	1	今後も保護者支援及び人権に関わる研修を実施し参加を呼びかける。	2	こども未来室
地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 高齢者虐待防止に関する研修回数 5件(令和元年度)。 (Ⅳ-12-30-102 再掲)	2	3	1	1	1	虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って権利擁護支援に向けて周知啓発が必要。	2	高齢介護室

・電話相談員に対し相談員としての資質向上を図るため、電話相談員研修会(1回/月)を実施した。 ・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象にDV防止研修会を開催。 テーマ:「DV加害者対応について～加害者とはどのような人なのか～」 開催日:令和元年10月29日 対象:DV連絡会議担当者及び窓口担当職員等 参加人数:34人	1	1	1	1	1	今年度は、外部機関(包括支援センター・いきいきネット相談支援センター)にも参加を呼びかけ受講してもらった。 引き続き、職員等の資質向上に努める。	2	人権・男女参画室
①ゲートキーパー研修に人権擁護委員4名が参加した。 テーマ「悩みを抱える人の話の聴き方(グループワークや実習)」 ②岸和田人権擁護委員協議会委員研修会に人権擁護委員8名が参加した。 テーマ「外国につながる子どもとその家族を取り巻く現状と課題」	2	3	3	2	1	今後も引き続き相談業務に関わる情報収集や対人援助技術の習得などに努める。	2	人権・男女参画室

施策⑭ 人権侵害の相談・救済の充実

事業番号	事業
112	相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。 ◆法律相談 ◆人権相談

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
市民等の権利の擁護と人権の保障に関する相談に応じることを趣旨として実施しており、相談件数730件(内 男262件女468件)でした。 相談内容は離婚:男27件女123件、遺産・相続:男54件女117件、家事:男7件女17件、不動産:男49件女56件、損害賠償:男32件女48件、債権・債務:男32件女40件、倒産:男9件女0件、労働:男5件女7件、その他:男47件女60件(令和2年3月末時点)	2	3	1	1	1	離婚相談においては、今後の生活について経済的なことや子育ての相談等もあることから、こども未来室や生活福祉課につなぐケースや、こども未来室からくらしサポートに紹介されて法律相談を受けるケースなど、他課との連携ができた。今後も、関係機関との連携を強化していく。	2	福祉総務課
人権擁護委員による人権相談を21回実施(毎月第1、3月曜日の午後1時30分～午後3時30分)特設相談を3回実施(憲法週間・人権擁護委員の日・人権週間)	1	3	3	1	1	今後も引き続き相談業務だけでなく啓発にも取り組んでいく	2	人権・男女参画室

施策⑮ DV防止対策の推進

事業番号	事業
113	DV防止基本計画に則り、総合的・計画的に推進します。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)			
DV防止基本計画の事業について、関係各課(室)と連携し、被害者の支援を行った。	1	2	2	1	1	引き続き、DV防止基本計画を推進する。	2	人権・男女参画室